

高原寮フェンス等設置工事設計図

図 面 リ ス ト						
図 番	図 面 名 称	備 考		図 番	図 面 名 称	備 考
A-01	表 紙			E-01	電気設備工事特記仕様書	
A-02	建築工事特記仕様書			E-02	盤結線図・照明姿図	
A-03	建築工事特記仕様書			E-03	電灯設備図	
A-04	建築工事特記仕様書					
A-05	建築工事特記仕様書					
A-06	建築工事特記仕様書					
A-07	建築工事特記仕様書					
A-08	付近見取図					
A-09	配 置 図					
A-10	1 階平面図					
A-11	2 階平面図					
A-12	建具リスト					
A-13	建具リスト					
A-14	外構平面図					
A-15	外構詳細図					
A-16						

MEMO



奥家巳喜建築設計事務所

広島県神石郡神石高原町小島2750-1 TEL0847-85-4500

広島県知事登録(21(1)第4222号) FAX0847-43-8161

図面名 表 紙

工事名 高 原 寮 フ ェ ン ス 等 設 置 工事設計図

縮尺

製作日

1級建築士
第315788号 奥 家 巳 喜

No. A - 0 1

高 原 寮 フ ェ ン ス 等 設 置 工 事

工事概要

1 ． 工事場所 広島県神石郡神石高原町油木甲6836番地1

2 ． 敷地面積

3 ． 工事種目 建築主体工事 1 式
電気設備工事 1 式
機械設備工事 1 式

4 ． 別途工事

5 ． 工事妨害に対する措置

ア ． 暴力団から工事妨害の被害を受けた場合は、その旨を直ちに報告するとともに被害届を速やかに警察署に提出すること。
イ ． 警察から被害届受理証明書が交付され、かつ、工程の調整を行ったにも係らず工期に遅れが生ずるおそれがある場合は、建設工事請負契約約款（以下「約款」という）第 2 1 条の規定による工事延長申請書に当該証明書を添付して提出すること。

6 ． 公衆災害防止措置

(1) 工事に際し、工事関係者以外の第三者の生命、身体及び財産の危害、並びに迷惑を防止するために必要な措置をとること。
(2) 上記について、「建設工事公衆災害防止要綱（平成 5 年 1 月 1 2 日付 建設事務次官通達）」に基づき実施すること。

7 ． 現状復旧

工事に際し、隣接建物等に損傷を与えた場合は、速やかに現状復旧を行うこと。

8 ． 主要資材

(1) この工事の施工に対して、資材を購入し、又はやむを得ず工事の一部（主体的部分を除く）を第三者に請け負わせようとする場合は、極力、広島県内に主たる営業所を有する業者に発注するものとする。
(2) 主要資材を購入しようとするときは、あらかじめ購入先の名称、所在地、及び資材名等を発注者に通知するものとする。
(3) 当該工事に使用する砂については、原則として海砂（県外産を含む）を使用しないこと。ただし、特にこの取り扱いにより難い場合は、監督職員と協議すること。

建築工事仕様

1 ． 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修、建築工事共通仕様書（平成 2 5 年版）による。

2 ． 特記仕様

(1) 項目は番号に 印のついたものを適用する。
(2) 特記事項は 印のついたものを適用する。
印のつかない場合は、* 印のついたものを適用する。
印と* 印のついた場合は、 印のついたものを適用する。
印と* 印のついた場合は、共に適用する。
(3) 項目欄に記載の（ ）内番号は、建築工事共通仕様書の当該項目を示す。
(4) 材料及び製造所等の記載順序は不同である。

3 ． 本工事の場合には、竣工後、下記に示す調査を行うため、神石高原町役場より連絡があれば対応すること。

(1) 完成施設事後調査（第一次調査） - 引渡し後、概ね 6 ヶ月頃
(2) 完成施設事後調査（第二次調査） - 引渡し後、概ね 1 年目頃
(3) かし担保調査 - 建設工事請負契約約款第 4 1 条に定める期間内

章 ①

④

発生材の処理等
(1 . 1 . 1 3)

・引渡しを要するもの（ ）
・特別管理産業廃棄物（ ）
・現場再利用を図るもの（ ）
・再生資源化を図るもの（ ・建設発生土・コンクリート塊・アスファルトコンクリート塊・建設発生木材）
・上記以外 1 . 1 . 1 3 (b) (5)、及び監督職員との協議による。
(1) 建設工事（解体撤去工事も含む）から発生する建設廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守し、建設廃棄物処理指針に基づき適正に処理すること。
また、元請け業者は、本工事により発生する特定建設資材廃棄物（特定建設資材（コケラ、ｱｽﾌﾙﾄｺﾝｸﾘｰﾄ及び木材）が廃棄物になったもの）については、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（以下「建設リサイクル法」。）及び「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃掃法」。）を遵守し、適正に処理すること。
(2) 元請け業者は、請け負った建設工事の全部若しくは主たる部分及び他の部分から独立してその機能を発揮する工作物の工事以外の部分を他の建設業を営む者に請け負わせようとする時は、当該他の建設業を営むものに対して、法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について告知すること
(3) 建設工事の元請け業者は、「建設廃棄物処理計画書」、「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」のとおり建設廃棄物が適正に処理されたことを確認するとともに、必要に応じて現地による確認、立入検査を行うこと。
(4) 提出書類
元請け業者は、工事着手前に、次の書類を監督員に提出すること。
・建設廃棄物処理計画書
以下の書類を添付すること。
ア 廃棄物処理業者（収集、運搬、中間処理・最終処分・再資源化施設）の許可の写し
イ 運搬ルート及び処分場の位置、事業の範囲、処理能力、処理方法を明示したもの。
ウ 処分場の現地確認写真
エ 建設工事の元請け業者と処理業者（収集、運搬、中間処理・最終処分・再資源化施設）との 2 者の業務委託契約書の写し
・再生資源利用計画書 ・再生資源利用促進計画書
元請け業者は、「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」及び「建設廃棄物処理計画書」に従い建設廃棄物及び特定建設資材が適正に処理されたことを確認し、工事完成時に次の書類を監督員に提出すること。
・再生資源化等報告書 ・再生資源利用実施書 ・再生資源利用促進実施書
・建設廃棄物処理実施書
以下の書類を添付すること。
ア マニフェスト（産業廃棄物管理票）A,B2,D,E 票の写し及び再生資源化については、受入伝票の写し（マニフェストは原則として厚生労働省が示す全国統一のマニフェストを使用）
イ 収集、運搬状況、中間処理、最終処分（処理・処分場・再資源化施設の看板、処理・処分場・再資源化状況等）の写真
(5) 元請け業者は、工事完成後速やかに、建設リサイクル法第10条の届出を所管する地域事務所長（広島市・呉市、福山市などにあつては各市長）に対して、「再資源化等報告書」を提出すること。
(6) 本工事で発生した建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設で処理すること。
(7) 本工事における再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、前記 6 . に掲げる施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。
従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。

工事期間は建築設備も含んだ期間とし、工事全体を把握して作成し、監督職員の承諾を受ける。

建築材料の製造所、製品及び施工業者などは、特記されたもの又は同等以上とする。
なお、「評価名簿による」と特記されたものについては、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機器材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（令和5年版）」によるほか、これらと同等以上のものとする。
当該評価事業の評価を受けたものを使用する場合は、評価書の写しを監督職員に提出し、その確認をもって品質・性能の確認があったものとする。
ただし、上記の場合において同等以上とする場合は、監督員の承諾を受ける。

(1) 図示した室について、下記の揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針以下であることを確認し、監督員に報告する。測定方法については、監督員と協議の上、測定に適したものとす。
（測定物質） ｶﾙﾃﾞｳﾐ、HCHO、ｾﾋﾞﾝ、ﾊﾞｼﾞﾙｵｷｼﾃﾞﾝ、ｲｽﾀﾙｵｷｼﾞﾝ、ｾﾌﾞﾝ
・（ ）ヶ所 ・その他（ ）
(2) 木工用接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとすること。
(3) 木材保存剤（木材の防腐・防蟻処理）は、非有機リン系とし、クロルピリホスを発散しないものとする。
(4) 塗料材料は、ホルマリン不検出のもので、原則水性系のものとする。
(5) 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、欄干等に使用する内装工事用接着剤は、ホルマリン不検出で、原則水性系のものとする。また、可塑材については、水溶性のものとする。

建築工事共通仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、監督職員の承諾を受けて、当該製品の指定工法による。

* 適用する

* 適用する

工 事 別	適 用 範 囲	工 事 別	適 用 範 囲
鉄筋	・鉄筋施工	タイル	・タイル張り
コンクリート	・左官・型枠施工・ｺﾝｸﾘｰﾄ圧送施工	木	・建築大工
鉄骨	・とび	屋根及びとい	・建築板金・スレート施工
ブロック	・ブロック建築	金属	・内装仕上施工(鋼製下地作業)
ALC/バネル	・ALC/バネル施工	左官	○左官
PCカーテンウォール	・カーテンウォール施工	建具	・サッシ施工・ガラス施工
防水	○防水施工()	塗装	○塗装
石	・石材	内装	・内装仕上施工()・表装
		植栽	・造園

章 ①

①

工事写真等

下記のものを監督職員に提出する。工事中写真の撮影は「営繕工事写真作成要領」によるものとする。
(1) 工程写真
工事の進捗に伴い工事全体状況及び主要工程の写真（カラー・サービス版）を期間別工事工程報告書に添付するものとする。
(2) 工事中写真
水中又は地下に埋設される部分、その他完成後外部から検査または確認することができなくなる部分、及びその他監督職員が指示する箇所は、A4版写真台紙（カラー・サービス版）にまとめて完成検査日までに1部提出するものとする。
(3) 完成写真
（撮影箇所） 建物外観各方向、主要箇所、主要室内、その他監督職員が指示する箇所
（規格・提出部数） *A4版ｸﾘｱﾌｧｲﾙ 部 ・A4版写真台紙 部 ・アルバム 2 部
（カラー・キャビネ版以上 表紙、背表紙に監督職員の指示により工事名称等を印字すること）
（完成写真の撮影業者） *監督職員の承諾する撮影業者
(4) その他の写真
隣接建物等に損傷の恐れがある場合は、施工前、施工後の写真（カラー・キャビネ版）を監督職員の指示により提出するものとする。
(5) 保管 工事写真のネガは工事完成后、発注者に提出するものとする。

（施工範囲）
* 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強
* 図示した壁、天井の仕上材、下地材の切り込み及び下地補強
* 自動閉鎖装置設置箇所の切り込み及び補強
* 別途工事業者と密接に連絡し調整に当たらなければならない。又、足場等は無償で使用させること。
*ｽｰﾌﾞ 補強・照明器具・換気扇・空調機器等の開口穴あけ、下地補強等は建設工事とする。
（電気設備図・機械設備図参照の事。）

労働安全衛生法第 3 0 条 2 項に基づき、当該地における工事について同条第 1 項に規定する工事について同条第 1 項に規定する措置を講ずべき者として本工事現場代理人を指名する。
請負者は本契約後直ちに「統括安全衛生責任者選任届出書」（任意様式）を提出すること。

別紙様式による期間別工事工程報告書を毎月 2 回 1 部提出すること。
次の工事について保証書を提出すること。

工事区分	材 料 名	保証年数	備 考
防水工事	・アスファルト防水	年	
	・改質アスファルトシート防水	年	
	・合成高分子ルーフィング防水	年	
	・塗膜防水	年	
屋根工事	・金属板葺き	年	漏水の場合等
	・折板葺き	年	漏水の場合等
	・瓦葺き	年	漏水の場合等
防錆工事		年	
特殊床工事	・フローリング及び塗装	年	
プール工事	・プール本体	年	・アルミ・ステンレス・F R P
	・塗装（通常塗装の場合）	年	
植栽工事	・活着	年	枯死の場合

行う。（回数及び時期については監督員の指示による）

提出を要する。（ 2 部）：A2 2つ折り
完成図は原則として原図にて修正を行い、施工図、保全に関する資料で必要なものの提出については、監督職員の指示による。

1 ． 処理を行うアスベスト成形板の仕様
・石綿スレート ・石綿セメント珪酸カルシウム板 ・その他
2 ． 施工調査
アスベスト成形板の撤去にあたり、あらかじめ事前の調査を次の事項について行う。調査結果は、図面により記録し、監督職員に提出する。
（ 1 ）アスベスト成形板の使用部位の確認
記載上のその使用範囲のみならず広く確認を行う。
（ 2 ）アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認
（ 3 ）アスベスト成形板使用数量の確認
（ 4 ）施工範囲等の確認

1 ． 当該工事により発生する建設発生土は、請負者の責任において行う。
（ 1 ） 処分場所 町内
（ 2 ） 運搬距離 15.0 k m
（ 3 ） 受入条件
（ 4 ） 受入費用 平日受入費用
（ 5 ） 提出調査等 提出を義務付ける。
なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により上記の指定により難い場合は、発注者と受注者が協議するものとする。

本工事により発生する特定建設資材廃棄物は、「建設リサイクル法」及び「廃掃法」を遵守し、適正に処理すること。詳細は、 4 発生材の処理の項によること。

1 ． 当該工事により発生する廃石膏ボード等は、請負者の責任において行う。
（ 1 ） 処分場所
（ 2 ） 運搬距離 k m
（ 3 ） 受入条件
（ 4 ） 受入費用 平日受入費用
（ 5 ） 提出調査等 提出を義務付ける。
なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により上記の指定により難い場合は、発注者と受注者が協議するものとする。

章 ①

①

一般共通事項

MEMO

iki
Okuie

奥 家 巳 喜 建 築 設 計 事 務 所

広島県神石郡神石高原町小島2750-1 T E L 0847-85-4500

広島県知事登録（ 21 (1) 第4222号 ） F A X 0847-43-8161

図面名

建築工事特記仕様書

縮尺

製作日

工事名

高 原 寮 フ ェ ン ス 等 設 置 工事

設計図

1 級建築士 奥 家 巳 喜

No. A - 0 2

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																			
② 仮設工事	① 監督職員事務所 (2 . 3 . 1)	* 設ける ○設けない (1)規模 ・1号 ・2号 ・3号 ・4号 ・5号 m程度 (2)備品 ・適用しない *適用する(監督職員の指示による) 構内既存の施設 ○利用できる(◎有償 ・無償) *利用できない 構内既存の施設 ・利用できる(*有償 ・無償) ◎利用できない 別紙設計図による。 ○仮設計画図を作成し監督員の承諾を得ること。 現場の見やすい位置に監督職員が指示する表示板(400mm×600mm)を設ける。	⑤ 鉄筋工事	④ 鉄筋の継手 (5 . 3 . 4)	(1)柱及び梁の主筋 *ガス圧接 ・重ね継手 (2)その他の主筋 *重ね継手 ・その他()	⑥ コンクリート工事	1 3 無筋コンクリート (6 . 1 4 . 1) (6 . 1 4 . 2)	(1)粗骨材の最大寸法(捨てコンクリート及び防水押さえコンクリートの場合) * 2 5 mm ・その他 mm (2)適用箇所 <table><tr><th>種類</th><th>スランプ (cm)</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>・普通コンクリート</td><td>・ 1 5 ・ 1 8</td><td></td></tr><tr><td>・軽量コンクリート</td><td>・ 1 5 ・ 1 8</td><td></td></tr></table> (3)免注強度 * 1 8 N/mm2 ・その他 N/mm2	種類	スランプ (cm)	適用箇所	・普通コンクリート	・ 1 5 ・ 1 8		・軽量コンクリート	・ 1 5 ・ 1 8																											
	種類	スランプ (cm)		適用箇所																																							
	・普通コンクリート	・ 1 5 ・ 1 8																																									
	・軽量コンクリート	・ 1 5 ・ 1 8																																									
	② 工事用水				5 耐久性上不利な箇所等の鉄筋のかぶり厚さ (5 . 3 . 5)		打放し面(増打ち) 柱サイド mm その他 mm		1 4 高い強度のコンクリート (6 . 1 5 . 1)	<table><tr><th>種類</th><th>種別</th><th>設計基準強度F_c(N/mm²)</th><th>スランプ (cm)</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	種類	種別	設計基準強度F _c (N/mm ²)	スランプ (cm)	適用箇所																												
種類	種別	設計基準強度F _c (N/mm ²)	スランプ (cm)	適用箇所																																							
③ 工事用電力			6 帯筋 (別図各部配筋 2 . 2)	形の種別 断面リストによる		1 5 水密コンクリート	<table><tr><th>水セメント比 (%)</th><th>スランプ (cm)</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>・ 5 0</td><td>・ 1 5</td><td></td></tr></table>	水セメント比 (%)	スランプ (cm)	適用箇所	・ 5 0	・ 1 5																															
水セメント比 (%)	スランプ (cm)	適用箇所																																									
・ 5 0	・ 1 5																																										
④ 仮囲い等の安全施設			7 梁貫通孔補強 (別図各部配筋 7 . 1)	補強形式 構造関係共通事項による		7 鉄骨工事	1 鉄骨製作工場 (7 . 1 . 3 ~ 4)	(1)加工能力 *構造関係共通事項による工場 ○監督職員が承諾する工場 (2)施工管理技術者 *適用する() ・適用しない <table><tr><th>材質</th><th>規格</th><th>使用箇所</th></tr><tr><td>・ S N 4 0 0 B</td><td>* J I S 規格品・ J I S 規格品以外</td><td></td></tr><tr><td>・ S S 4 0 0</td><td>* J I S 規格品・ J I S 規格品以外</td><td></td></tr><tr><td>・ S T K 4 0 0</td><td>* J I S 規格品・ J I S 規格品以外</td><td></td></tr><tr><td>・ S T K R 4 0 0</td><td>* J I S 規格品・ J I S 規格品以外</td><td></td></tr><tr><td>・ S S C 4 0 0</td><td>* J I S 規格品・ J I S 規格品以外</td><td></td></tr><tr><td></td><td>* J I S 規格品・ J I S 規格品以外</td><td></td></tr></table> J I S 規格品以外の場合 *試験を行う ・試験を行わない	材質	規格	使用箇所	・ S N 4 0 0 B	* J I S 規格品・ J I S 規格品以外		・ S S 4 0 0	* J I S 規格品・ J I S 規格品以外		・ S T K 4 0 0	* J I S 規格品・ J I S 規格品以外		・ S T K R 4 0 0	* J I S 規格品・ J I S 規格品以外		・ S S C 4 0 0	* J I S 規格品・ J I S 規格品以外			* J I S 規格品・ J I S 規格品以外															
材質	規格	使用箇所																																									
・ S N 4 0 0 B	* J I S 規格品・ J I S 規格品以外																																										
・ S S 4 0 0	* J I S 規格品・ J I S 規格品以外																																										
・ S T K 4 0 0	* J I S 規格品・ J I S 規格品以外																																										
・ S T K R 4 0 0	* J I S 規格品・ J I S 規格品以外																																										
・ S S C 4 0 0	* J I S 規格品・ J I S 規格品以外																																										
	* J I S 規格品・ J I S 規格品以外																																										
⑤ 工事現場の表示			8 圧接完了後の検査 (5 . 4 . 9)	検査方法 *超音波探傷試験 ・引張試験		2 鋼材 (7 . 2 . 1)	<table><tr><th>材質</th><th>規格</th><th>使用箇所</th></tr><tr><td>・ S N 4 0 0 B</td><td>* J I S 規格品・ J I S 規格品以外</td><td></td></tr><tr><td>・ S S 4 0 0</td><td>* J I S 規格品・ J I S 規格品以外</td><td></td></tr><tr><td>・ S T K 4 0 0</td><td>* J I S 規格品・ J I S 規格品以外</td><td></td></tr><tr><td>・ S T K R 4 0 0</td><td>* J I S 規格品・ J I S 規格品以外</td><td></td></tr><tr><td>・ S S C 4 0 0</td><td>* J I S 規格品・ J I S 規格品以外</td><td></td></tr><tr><td></td><td>* J I S 規格品・ J I S 規格品以外</td><td></td></tr></table> J I S 規格品以外の場合 *試験を行う ・試験を行わない	材質	規格	使用箇所	・ S N 4 0 0 B	* J I S 規格品・ J I S 規格品以外		・ S S 4 0 0	* J I S 規格品・ J I S 規格品以外		・ S T K 4 0 0	* J I S 規格品・ J I S 規格品以外		・ S T K R 4 0 0	* J I S 規格品・ J I S 規格品以外		・ S S C 4 0 0	* J I S 規格品・ J I S 規格品以外			* J I S 規格品・ J I S 規格品以外																
材質	規格	使用箇所																																									
・ S N 4 0 0 B	* J I S 規格品・ J I S 規格品以外																																										
・ S S 4 0 0	* J I S 規格品・ J I S 規格品以外																																										
・ S T K 4 0 0	* J I S 規格品・ J I S 規格品以外																																										
・ S T K R 4 0 0	* J I S 規格品・ J I S 規格品以外																																										
・ S S C 4 0 0	* J I S 規格品・ J I S 規格品以外																																										
	* J I S 規格品・ J I S 規格品以外																																										
③ 土工事	① 埋め戻し及び盛り土 (3 . 2 . 3)	種別 ・ A 種 * B 種 ・ C 種 ・ D 種	⑥ コンクリート工事	① 設計基準強度 (6 . 1 . 3) (6 . 1 . 4)	*普通コンクリート <table><tr><th>設計基準強度F_c(N/mm²)</th><th>スランプ (cm)</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>・ 1 8</td><td></td><td></td></tr><tr><td>* 2 1</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 2 4</td><td></td><td></td></tr></table> ・軽量コンクリート <table><tr><th>設計基準強度 F_c (N/mm²)</th><th>種別</th><th>気乾単位容積重量 (t / m³)</th><th>スランプ (cm)</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>・ 1 8</td><td>・ 1 種 ・ 2 種</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>* 2 1</td><td>・ 1 種 ・ 2 種</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>・ 1 種 ・ 2 種</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> * 類 ・ 類	設計基準強度F _c (N/mm ²)	スランプ (cm)	適用箇所	・ 1 8			* 2 1			・ 2 4			設計基準強度 F _c (N/mm ²)	種別	気乾単位容積重量 (t / m ³)	スランプ (cm)	適用箇所	・ 1 8	・ 1 種 ・ 2 種				* 2 1	・ 1 種 ・ 2 種					・ 1 種 ・ 2 種				1 5 水密コンクリート	3 高力ボルト (7 . 2 . 2) (7 . 4 . 5)	種類 * トルシア形高力ボルト (セットの種類 * 2 種 (S10T) ・その他) ・ J I S の高力ボルト (セットの種類 * 2 種 (F10T) ・その他) ・溶融亜鉛めっき高力ボルト (セットの種類 1 種 (F8T相当))			
	設計基準強度F _c (N/mm ²)	スランプ (cm)		適用箇所																																							
	・ 1 8																																										
	* 2 1																																										
	・ 2 4																																										
設計基準強度 F _c (N/mm ²)	種別	気乾単位容積重量 (t / m ³)	スランプ (cm)	適用箇所																																							
・ 1 8	・ 1 種 ・ 2 種																																										
* 2 1	・ 1 種 ・ 2 種																																										
	・ 1 種 ・ 2 種																																										
② 建設発生土の処理 (3 . 2 . 5)	* 構外指示の場所に処分 ・構外搬出適切処理 ・構内指示の場所に敷き均し ・構内指示の場所に堆積 敷地周囲は真砂土厚 1 0 0 mm敷き込みのうえ、転圧整地のこと(m範囲)		② レディーミクスト コンクリートの種別 (6 . 1 . 5)	(1)部材の位置及び断面寸法の許容差 *表 6 . 2 . 2 による ・その他() (2)コンクリート打放し仕上げ *合板せき板を使用する場合(表 6 . 2 . 3) <table><tr><th>種別</th><th>適 用 箇 所</th></tr><tr><td>・ A 種</td><td>* 図示による ・その他()</td></tr><tr><td>・ B 種</td><td>* 図示による ・その他()</td></tr><tr><td>・ C 種</td><td>* 図示による ・その他()</td></tr></table> ・合板せき板を使用しない場合 (3)仕上りの平坦さ *表 6 . 2 . 4 及び 1 5 . 3 . 2 による ・その他()	種別	適 用 箇 所	・ A 種	* 図示による ・その他()	・ B 種	* 図示による ・その他()	・ C 種	* 図示による ・その他()		4 ターンバックル (7 . 2 . 6)	(1)胴の種類 *割枠式 ・その他() (2)ボルトの種類 *羽子板ボルト ・その他()																												
種別	適 用 箇 所																																										
・ A 種	* 図示による ・その他()																																										
・ B 種	* 図示による ・その他()																																										
・ C 種	* 図示による ・その他()																																										
3 整地	* 任意仮設 ・但し諸数値については監督職員の指示を受けること ・指定仮設 ・工法によっては、耐力確認試験を行うこと		③ コンクリートの仕上り (6 . 2 . 5)	*普通コンクリート 設計基準強度F _c (N/mm ²) スランプ(cm) 適用箇所 ・ 1 8 ・ 2 1 ・ 2 4 ・軽量コンクリート 設計基準強度 F _c (N/mm ²) 種別 気乾単位容積重量 (t / m ³) スランプ (cm) 適用箇所 ・ 1 8 ・ 1 種 ・ 2 種 ・ 2 1 ・ 1 種 ・ 2 種 ・ 1 種 ・ 2 種 * 類 ・ 類 (1)部材の位置及び断面寸法の許容差 *表 6 . 2 . 2 による ・その他() (2)コンクリート打放し仕上げ *合板せき板を使用する場合(表 6 . 2 . 3) <table><tr><th>種別</th><th>適 用 箇 所</th></tr><tr><td>・ A 種</td><td>* 図示による ・その他()</td></tr><tr><td>・ B 種</td><td>* 図示による ・その他()</td></tr><tr><td>・ C 種</td><td>* 図示による ・その他()</td></tr></table> ・合板せき板を使用しない場合 (3)仕上りの平坦さ *表 6 . 2 . 4 及び 1 5 . 3 . 2 による ・その他()	種別	適 用 箇 所	・ A 種	* 図示による ・その他()	・ B 種	* 図示による ・その他()	・ C 種	* 図示による ・その他()		5 溶接部の検査 (7 . 6 . 1 1)	(1)試験方法 <table><tr><th>試験の種類別</th><th>検査の種類別</th><th>試験箇所</th><th>試験数</th><th>AOQL</th><th>検査水準</th><th>備考</th></tr><tr><td>*超音波探傷試験</td><td>* 抜取検査・全数検査</td><td></td><td></td><td>*4.0%・2.5%</td><td>*第 6 水準</td><td></td></tr><tr><td>*浸透探傷試験</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・現場目視</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (2)試験機関 監督職員が承諾する試験機関	試験の種類別	検査の種類別	試験箇所	試験数	AOQL	検査水準	備考	*超音波探傷試験	* 抜取検査・全数検査			*4.0%・2.5%	*第 6 水準		*浸透探傷試験							・現場目視						
種別	適 用 箇 所																																										
・ A 種	* 図示による ・その他()																																										
・ B 種	* 図示による ・その他()																																										
・ C 種	* 図示による ・その他()																																										
試験の種類別	検査の種類別	試験箇所	試験数	AOQL	検査水準	備考																																					
*超音波探傷試験	* 抜取検査・全数検査			*4.0%・2.5%	*第 6 水準																																						
*浸透探傷試験																																											
・現場目視																																											
④ 地業工事	1 試験杭 (4 . 2 . 2)	(1)杭の本数 *最初の 1 本 ・図示による (2)杭の種類 *本杭と同じ ・その他() (3)杭の寸法 *本杭と同じ ・その他() (4)設計支持力 t / 本 ・図示による (5)支持力の算定方法 *平成 13 年国土交通省告示 1 1 1 3 号による ・図示による <table><tr><th>杭の種類</th><th>鉄筋コンクリート杭</th><th>プレストレストコンクリート杭</th><th>左記に掲げるものの外 建築基準法に基づく杭</th></tr><tr><th>規格・材質等</th><td>JIS規格品</td><td>JIS規格品</td><td></td></tr><tr><td></td><td>* 1 種 ・ 2 種</td><td>* A 種 ・ B 種 ・ C 種</td><td></td></tr><tr><th>長さ (m)</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>断面寸法 (mm)</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>長期設計支持力 (t / 本)</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>継手</th><td>・無し *有り(箇所)</td><td></td><td></td></tr><tr><th>先端部形式・形状</th><td>・開放形 ・閉塞平坦形 ・その他()</td><td></td><td></td></tr></table> (1)工法 ・打込み工法 (施工法) *プレボーリング併用工法 ・その他() (ハンマー) *油圧ハンマー ・その他() (杭打込み機の種類) * 3 点支持クローラークレーン ・その他() (プレボーリング掘削深さ) G L - m (オーガー径 mm) ・認定埋込み工法 認定された条件に基づいて施工する。 ・セメントミルク工法 プレボーリング深さ G L - m (2)継手の工法 *アーク溶接(半自動) ・その他() (3)杭頭の処理 *行う ・行わない (4)根固め液充填の確認 ・行う(箇所) ・行わない	杭の種類	鉄筋コンクリート杭	プレストレストコンクリート杭	左記に掲げるものの外 建築基準法に基づく杭	規格・材質等	JIS規格品	JIS規格品			* 1 種 ・ 2 種	* A 種 ・ B 種 ・ C 種		長さ (m)				断面寸法 (mm)				長期設計支持力 (t / 本)				継手	・無し *有り(箇所)			先端部形式・形状	・開放形 ・閉塞平坦形 ・その他()				6 錆止め塗装 (7 . 8 . 3)	(1)鉄面 *表 1 8 . 3 . 1 の A 種 ・その他() (2)亜鉛めっき面 *表 1 8 . 3 . 2 の B 種 ・その他()						
	杭の種類	鉄筋コンクリート杭	プレストレストコンクリート杭	左記に掲げるものの外 建築基準法に基づく杭																																							
	規格・材質等	JIS規格品	JIS規格品																																								
		* 1 種 ・ 2 種	* A 種 ・ B 種 ・ C 種																																								
	長さ (m)																																										
断面寸法 (mm)																																											
長期設計支持力 (t / 本)																																											
継手	・無し *有り(箇所)																																										
先端部形式・形状	・開放形 ・閉塞平坦形 ・その他()																																										
2 既製コンクリート杭及び鋼杭地業 (4 . 3 . 2 ~ 7) (4 . 4 . 2 ~ 5)	<table><tr><th>杭の種類</th><th>鉄筋コンクリート杭</th><th>プレストレストコンクリート杭</th><th>左記に掲げるものの外 建築基準法に基づく杭</th></tr><tr><th>規格・材質等</th><td>JIS規格品</td><td>JIS規格品</td><td></td></tr><tr><td></td><td>* 1 種 ・ 2 種</td><td>* A 種 ・ B 種 ・ C 種</td><td></td></tr><tr><th>長さ (m)</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>断面寸法 (mm)</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>長期設計支持力 (t / 本)</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>継手</th><td>・無し *有り(箇所)</td><td></td><td></td></tr><tr><th>先端部形式・形状</th><td>・開放形 ・閉塞平坦形 ・その他()</td><td></td><td></td></tr></table> (1)掘削工法 ・アースドリル工法 ・リバース工法 ・オールケーシング工法 ・場所打ち鋼管コンクリート杭 ・掘削杭工法 他の工法との組み合わせ (・アースドリル工法 ・リバース工法 ・オールケーシング工法 ・場所打ち鋼管コンクリート杭) (2)掘削深さ G L - m (3)断面寸法 mm (4)セメントの種類 *高炉セメントB種 ・その他() (5)コンクリートの種別 ・A種 ・B種 (6)鉄筋の最小かぶり厚さ * 1 0 0 mm ・ mm (7)超音波測定 *行う ・行わない	杭の種類	鉄筋コンクリート杭	プレストレストコンクリート杭	左記に掲げるものの外 建築基準法に基づく杭	規格・材質等	JIS規格品	JIS規格品			* 1 種 ・ 2 種	* A 種 ・ B 種 ・ C 種		長さ (m)				断面寸法 (mm)				長期設計支持力 (t / 本)				継手	・無し *有り(箇所)			先端部形式・形状	・開放形 ・閉塞平坦形 ・その他()				7 耐火被覆 (7 . 9 . 2)	(1)種別 *耐火材吹付け(*乾式工法 ・湿式工法) ・ラス張りモルタル塗り ・耐火板張り (2)性能							
杭の種類	鉄筋コンクリート杭	プレストレストコンクリート杭	左記に掲げるものの外 建築基準法に基づく杭																																								
規格・材質等	JIS規格品	JIS規格品																																									
	* 1 種 ・ 2 種	* A 種 ・ B 種 ・ C 種																																									
長さ (m)																																											
断面寸法 (mm)																																											
長期設計支持力 (t / 本)																																											
継手	・無し *有り(箇所)																																										
先端部形式・形状	・開放形 ・閉塞平坦形 ・その他()																																										
3 場所打ちコンクリート杭地業 (4 . 5 . 3 ~ 5)	(1)掘削工法 ・アースドリル工法 ・リバース工法 ・オールケーシング工法 ・場所打ち鋼管コンクリート杭 ・掘削杭工法 他の工法との組み合わせ (・アースドリル工法 ・リバース工法 ・オールケーシング工法 ・場所打ち鋼管コンクリート杭) (2)掘削深さ G L - m (3)断面寸法 mm (4)セメントの種類 *高炉セメントB種 ・その他() (5)コンクリートの種別 ・A種 ・B種 (6)鉄筋の最小かぶり厚さ * 1 0 0 mm ・ mm (7)超音波測定 *行う ・行わない		④ セメントの種別 (6 . 3 . 2)	*普通ポルトランドセメント又は混合セメント A 種 ・高炉セメント B 種 普通ポルトランドセメントの品質は J I S R 5 2 1 0 の他、下記の規定に適合するものとする。 <table><tr><th>品質</th><th>規定</th></tr><tr><td>水和熱 (J/g)</td><td>7 d 2 8 d</td></tr><tr><td>全アルカリ (Na₂O eq) %</td><td>0 . 7 5 以下</td></tr><tr><td>塩化物イオン %</td><td>0 . 0 2 以下</td></tr></table> 注) 全アルカリ (Na ₂ O eq) の算出は J I S R 5 2 1 0 ポルトランドセメント付属書 ポルトランドセメント(低アルカリ形)による。 塩化物量 NaCl 換算 0.04%以下	品質	規定	水和熱 (J/g)	7 d 2 8 d	全アルカリ (Na ₂ O eq) %	0 . 7 5 以下	塩化物イオン %	0 . 0 2 以下		8 アンカーボルトの材質及び設置 (7 . 2 . 4) (7 . 1 0 . 3)	(1)材質 構造用アンカーボルト * S N R 4 0 0 ・その他() 建方用アンカーボルト * S S 4 0 0 ・その他() (2)構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状・寸法 *図示による (3)建方用アンカーボルトの保持及び埋込工法 ・ A 種 * B 種 ・ C 種																												
品質	規定																																										
水和熱 (J/g)	7 d 2 8 d																																										
全アルカリ (Na ₂ O eq) %	0 . 7 5 以下																																										
塩化物イオン %	0 . 0 2 以下																																										
④ 砂利地業 (4 . 6 . 3)	(1)厚さ * 6 0 mm ○ 1 0 0 mm (2)再生クラッシャーラン ・使用しない ・使用する(適用箇所)		⑤ 細骨材の塩分含有量	呼び強度は、設計基準強度(F _c)に、温度補正値及び 3 N/mm ² を加えた値以上とする。 塩化物量 (c l 重量) 0.30kg/m ³ 以下		9 柱底均しモルタルの材料及び工法 (7 . 2 . 9) (7 . 1 0 . 3)	(1)材料 *無収縮モルタル(製造所 *評価名簿による ・その他) ・モルタル (2)工法 * A 種 ・ B 種																																				
⑤ 捨てコンクリート地業 (4 . 6 . 5)	厚さ * 6 0 mm ○ 5 0 mm		⑥ 混和材料 (6 . 3 . 5)	(1)材種 (2)適用箇所 *合板 厚さ * 12mm ・ 15mm ・床型枠用鋼製デッキプレート 製造所		1 0 亜鉛めっき (7 . 1 2 . 3)	(1)種別 *表 1 4 . 2 . 2 の A 種 (軽量形鋼は、板厚により B 種・C 種とする) (2)適用箇所																																				
6 床下防湿層 (4 . 6 . 6)	*建物内土間全域(別様の自動車庫庫、自転車置場を除く) ・張物下地部分(ビニール床タイル等)但し便所、土間部磁器タイル下地は除く		⑦ 呼び強度 (6 . 4 . 5)	呼び強度は、設計基準強度(F _c)に、温度補正値及び 3 N/mm ² を加えた値以上とする。		1 1 スリーブ補強	建築工事とする。																																				
7 接地部分の断熱材 (特定フロンを使用しないもの)	ポリスチレンフォーム保温材 J I S A 9 5 1 1 規格品 3 種 b (スキン層無し) 厚さ * 2 5 mm ・ mm		⑧ コクリート中の塩化物量 (6 . 5 . 4)	塩化物量 (c l 重量) 0.30kg/m ³ 以下																																							
⑤ 鉄筋工事	① 鉄筋 (5 . 2 . 1)	<table><tr><th>種類の記号</th><th>径</th></tr><tr><td>* S D 2 9 5 A</td><td>D 1 0 , D 1 3 , D 1 6</td></tr><tr><td>* S D 3 4 5</td><td>D 1 9 以上</td></tr><tr><td>・ S D R 2 3 5</td><td></td></tr></table> S D R 2 3 5 規格相当品は、全国伸鉄工業組合広島支部白ラベル貼付表示品等	種類の記号	径	* S D 2 9 5 A	D 1 0 , D 1 3 , D 1 6	* S D 3 4 5	D 1 9 以上	・ S D R 2 3 5		⑥ コンクリート工事	1 1 試験 (6 . 1 0 . 1 ~ 6 . 1 0 . 6)	下記以外は、6 章 1 0 節による。 (1)塩化物量の試験 試料の採取 *表 6 . 1 0 . 3 による ・その他() 不合格の場合の処理 不合格となった場合は、次の運搬車から各運搬車毎に試験を行い指定値以下であることを確認した後使用するものとする。ただしこの場合連続して 10 台の運搬車の試験が指定値以下であることが確認できれば、その後は上記の試料の採取による。 (2)コンクリートの強度試験 公的機関、及びこれに準ずる機関で行う。1 過強度については生コン工場試験室でも良い。供試体の養生方法は、現場水中養生とする。																														
	種類の記号	径																																									
	* S D 2 9 5 A	D 1 0 , D 1 3 , D 1 6																																									
* S D 3 4 5	D 1 9 以上																																										
・ S D R 2 3 5																																											
2 溶接金網 (5 . 2 . 2)	(1)網目の形状 寸法・径 mm (2)施工箇所	1 2 マスコンクリート (6 . 1 3 . 2)	セメントの種類 *高炉セメントの B 種 ・その他()																																								
3 材料試験 (5 . 2 . 3)	JISの規格品については規格証明書の提出、その他は公的機関及びこれに準ずる機関において 5 . 2 . 3 (b) による試験を行うこと。 鉄筋を溶接する場合は、 5 . 2 . 3 (c) による試験を行うこと。																																										

8 コ 押 ン 出 ク 成 リ シ ー メ ン ト 板 工 事 A L C パ ネ ル	1	コンクリートブロック (8 . 2 . 2) (8 . 3 . 2)	(1)種類 ・ C 種 ・ (2)厚さ * 図示	10 石 工 事	1	天然石 (1 0 . 2 . 1)	(1)品質 * 1 等品 (床以外) * 2等品 (床) ・ () (2)石材の種類及び表面仕上げ <table><tr><td>施工箇所</td><td>種類・産地・名称</td><td>表面仕上げの種類</td></tr><tr><td>トイレ</td><td>御影石</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> (3)建築基準法に基づき定まる風速(Vo)及び地表面粗度区分 * 図示による ・ 適用しない	施工箇所	種類・産地・名称	表面仕上げの種類	トイレ	御影石					13 屋 根 及 び と い 工 事	2	折板葺き (1 3 . 3 . 2) (1 3 . 3 . 3)	形式 山高 mm ピッチ mm 耐力 厚さ mm 形による区分 重ね型 ・ はげ締め型併用 材料 塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び銅帯 (屋根用) ・ フッ素樹脂鋼板 ・ 3D か-G L ・ ポリ塩化ビニル被覆金属板 (SG A種) ・ 塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び銅帯 (屋根用) ・ 塗装溶融55%アルミニウム・亜鉛合金めっき鋼板及び銅帯 (屋根用) タイトフレーム、けらば納めは屋根ふき工法に応じた専門業者の仕様による。 建築基準法に基づき定まる風速 (Vo) 及び地表面粗度区分は、図示による。																																																					
		施工箇所	種類・産地・名称			表面仕上げの種類																																																																			
		トイレ	御影石																																																																						
	2	ALCパネル (8 . 4 . 2 ~ 8 . 4 . 5)	(1)パネルの種類、単位荷重、厚さ耐火性能、工法・種別 <table><tr><td>種類</td><td>厚さ</td><td>単位荷重(N/m2)</td><td>耐火性能</td><td>工法・種別</td></tr><tr><td>・ 外壁用</td><td></td><td></td><td></td><td>・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ D 種 ・ E 種</td></tr><tr><td>・ 間仕切用</td><td></td><td></td><td></td><td>・ B 種・ C 種・ D 種・ E 種・ F 種・ G 種</td></tr><tr><td>・ 屋根用</td><td></td><td></td><td></td><td>8 . 4 . 6 による</td></tr><tr><td>・ 床用</td><td></td><td></td><td></td><td>8 . 4 . 6 による</td></tr></table> (2)建築基準法に基づき定まる風速(Vo)及び地表面粗度区分 * 図示による ・ 適用しない (3)出隅・入隅部のパネル接合部目地幅 * 20mm ・ mm	種類	厚さ	単位荷重(N/m2)	耐火性能	工法・種別	・ 外壁用				・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ D 種 ・ E 種	・ 間仕切用				・ B 種・ C 種・ D 種・ E 種・ F 種・ G 種	・ 屋根用				8 . 4 . 6 による	・ 床用				8 . 4 . 6 による	2	テラゾブロック及び テラゾタイル (1 0 . 2 . 1)	(1)種石の種類・大きさ * 大理石 10mm ・ () (2)表面仕上げ ・ (既設に合せる) (3)製造所 * 監督職員が承諾する工場	3	スレート波板葺き (1 3 . 4 . 2)	種類 屋根 ・ 大波 ・ 中波 ・ リブ波 ・ 小波 (自転車置場) 外壁 ・ 大波 ・ 中波 ・ リブ波 ・ 小波 軒先 面戸板を仕様 面戸板は石綿スレート製とする。 外壁の出隅 隅当て使用 座金の厚さ (mm) 1.6以上 建築基準法に基づき定まる風速 (Vo) 及び地表面粗度区分は、図示による。																																							
		種類	厚さ	単位荷重(N/m2)	耐火性能	工法・種別																																																																			
	・ 外壁用				・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ D 種 ・ E 種																																																																				
	・ 間仕切用				・ B 種・ C 種・ D 種・ E 種・ F 種・ G 種																																																																				
	・ 屋根用				8 . 4 . 6 による																																																																				
	・ 床用				8 . 4 . 6 による																																																																				
3	押出成形セメント板 (8 . 5 . 2) (8 . 5 . 4) (8 . 5 . 5)	(1)パネルの種類、表面形状、耐火性能、工法・種別 <table><tr><td>種類</td><td>表面形状</td><td>厚さ</td><td>工法・種別</td></tr><tr><td>・ 外壁用</td><td></td><td></td><td>・ A 種 ・ B 種</td></tr><tr><td>・ 間仕切用</td><td></td><td></td><td>・ B 種 ・ C 種</td></tr></table> (2)パネルの含有する原料による区分 * タイプ (無石綿) ・ () (3)建築基準法に基づき定まる風速(Vo)及び地表面粗度区分 * 図示による ・ 適用しない (4)出隅・入隅部のパネル接合部目地幅 * 15mm ・ mm (5)製造所 * 評価名簿による ()	種類	表面形状	厚さ	工法・種別	・ 外壁用			・ A 種 ・ B 種	・ 間仕切用			・ B 種 ・ C 種	11 タ イ ル 工 事	1	伸縮調整目地及びびび 割れ誘発目地 (1 1 . 1 . 3)	(1)外壁 * 立面図による ・ 表 1 1 . 1 . 1 による (2)屋内 * 1 1 . 1 . 3 (b)による ・ 表 1 1 . 1 . 1 による 接着力試験 * 行う ・ 行わない () (1)試験方法 * 1 1 . 1 . 4 (b)(1)による ・ () (2)試験体 * 1 1 . 1 . 4 (b)(2)による ・ () (3)引張接着強度 * 表 1 1 . 1 . 2 による ・ ()	4	粘土瓦葺き (1 3 . 5 . 2) (1 3 . 5 . 3)	形状 等級 製造所 評価名簿による 建築基準法に基づき定まる風速 (Vo) 及び地表面粗度区分は、図示による。																																																				
	種類	表面形状	厚さ	工法・種別																																																																					
・ 外壁用			・ A 種 ・ B 種																																																																						
・ 間仕切用			・ B 種 ・ C 種																																																																						
9 防 水 工 事	1	アスファルト防水 (9 . 2 . 2 ~ 9 . 2 . 4)	(1)防水層の工法による種類及び工程による種別 <table><tr><td>施工箇所</td><td>種類・種別</td><td>施工箇所</td><td>種類・種別</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (2)アスファルトの種類 * 3種 (3)押さえ金物の材質及び形状寸法 * アルミニウム製L-30×15×2.0mm ・ () (4)屋根保護防水断熱工法に用いる断熱材の材質及び厚さ 材質 * 押出法ポリスチレンフォーム3種b両面スキン層付(JISA9511) ・ () 厚さ * 25mm ・ mm (5)絶縁用シートに使用する材料 屋根保護防水工法 * ポリエチレンフィルム ・ () 屋根保護防水断熱工法 * フラットヤークロス ・ () (6)立上り部コンクリート打放し仕上げの種類 * 表6.2.3のB種 ・ () (7)成形伸縮目地材 製造所 * 評価名簿による ・ () (8)防水立上り部の乾式保護材 製造所 * 評価名簿による ・ () (9)屋根露出防水絶縁工法の脱気装置 * 設ける ・ 設けない 種類・材質 () 設置数量 ()	施工箇所	種類・種別	施工箇所	種類・種別									2	施工後の確認及び試験 (1 1 . 1 . 4)	3	材料 (1 1 . 2 . 1) (1 1 . 2 . 3)	(1)タイルの形状・寸法、きじの質、うわぐすりの有無 <table><tr><td>施工箇所</td><td>形状寸法(mm)</td><td>き じ</td><td>うわぐすり</td><td>その他</td></tr><tr><td>玄関・ポーチ床</td><td>100角</td><td>磁器質</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (2)役物使用箇所 <table><tr><td>内装</td><td>出隅・端部</td></tr><tr><td>外装</td><td>出隅</td></tr></table> (3)タイルの見本焼き * 行わない ・ 行う () (4)製造所 * 評価名簿による ・ () (5)保水剤製造所 * 評価名簿による ・ () (6)既製調合モルタル * 使用する (製造所 * 評価名簿による ・) ・ 使用しない	施工箇所	形状寸法(mm)	き じ	うわぐすり	その他	玄関・ポーチ床	100角	磁器質																																						内装	出隅・端部	外装	出隅	14 金 属 工 事	1	ステンレス表面仕上げ (1 4 . 2 . 1)	HL 仕上げ ・ 鏡面仕上げ
		施工箇所	種類・種別	施工箇所	種類・種別																																																																				
	施工箇所	形状寸法(mm)	き じ	うわぐすり	その他																																																																				
	玄関・ポーチ床	100角	磁器質																																																																						
内装	出隅・端部																																																																								
外装	出隅																																																																								
2	改質アスファルト シート防水 (9 . 3 . 2 ~ 9 . 3 . 4)	(1)防水層の工程による種別 <table><tr><td>施工箇所</td><td>種別</td><td>施工箇所</td><td>種別</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	施工箇所	種別	施工箇所	種別									2	アルミニウム及びアルミ ニウム合金の表面処理 (1 4 . 2 . 2)	<table><tr><td>表面処理の種類</td><td>施工箇所</td><td>表面処理の種類</td><td>施工箇所</td></tr><tr><td>・ B - 1 種</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ B - 2 種</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 皮膜の品質試験 ・ 行う ・ 行わない (試験成績表の提出)	表面処理の種類	施工箇所	表面処理の種類	施工箇所	・ B - 1 種				・ B - 2 種																																															
	施工箇所	種別	施工箇所	種別																																																																					
表面処理の種類	施工箇所	表面処理の種類	施工箇所																																																																						
・ B - 1 種																																																																									
・ B - 2 種																																																																									
3	合成高分子系 ルーフィングシート防水 (9 . 4 . 2 ~ 9 . 4 . 4)	(1)防水層の工法による種類及び工程による種別 <table><tr><td>施工箇所</td><td>種類・種別</td><td>施工箇所</td><td>種類・種別</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (2)絶縁用シートの材質 * 発砲ポリエチレンシート ・ () (3)建築基準法に基づき定まる風速(Vo)及び地表面粗度区分 * 図示による ・ 適用しない	施工箇所	種類・種別	施工箇所	種類・種別									3	鉄の亜鉛めっき (1 4 . 2 . 3)	<table><tr><td>種別</td><td>施工箇所</td><td>種別</td><td>施工箇所</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 亜鉛めっき面の試験 行う (付着量試験) ・ 行わない	種別	施工箇所	種別	施工箇所																																																				
	施工箇所	種類・種別	施工箇所	種類・種別																																																																					
種別	施工箇所	種別	施工箇所																																																																						
4	塗膜防水 (9 . 5 . 2 ~ 9 . 5 . 4)	(1)防水層の材料による種類及び工程による種別 <table><tr><td>施工箇所</td><td>種類・種別</td><td>施工箇所</td><td>種類・種別</td></tr><tr><td>2階 南側陸屋根部分</td><td>外タテ塗膜</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (2)種別 X - 1 における脱気装置 * 設ける ・ 設けない 種類・材質 () 設置数量 () (3)種別 Y - 2 における保護層 (工程 5 , 6) の適用 ・ 保護シート () ・ 保護モルタル () ・ 保護コンクリート ()	施工箇所	種類・種別	施工箇所	種類・種別	2階 南側陸屋根部分	外タテ塗膜							4	金属成形板張り (1 4 . 6 . 2) (1 4 . 6 . 3)	<table><tr><td>種別</td><td>スバンドレル (3D か-G L)</td><td></td></tr><tr><td>製 法</td><td>・ 押出し形材 ・ 板曲げ</td><td></td></tr><tr><td>寸法 (mm)</td><td>板幅 板厚: 0.5mm</td><td></td></tr><tr><td>形 状</td><td>・ 図示</td><td></td></tr><tr><td>表面処理</td><td>B - 1 種 ・ B - 2 種</td><td></td></tr><tr><td>伸縮継手</td><td>設けない ・ 設ける (図示による)</td><td></td></tr></table>	種別	スバンドレル (3D か-G L)		製 法	・ 押出し形材 ・ 板曲げ		寸法 (mm)	板幅 板厚: 0.5mm		形 状	・ 図示		表面処理	B - 1 種 ・ B - 2 種		伸縮継手	設けない ・ 設ける (図示による)																																							
	施工箇所	種類・種別	施工箇所	種類・種別																																																																					
2階 南側陸屋根部分	外タテ塗膜																																																																								
種別	スバンドレル (3D か-G L)																																																																								
製 法	・ 押出し形材 ・ 板曲げ																																																																								
寸法 (mm)	板幅 板厚: 0.5mm																																																																								
形 状	・ 図示																																																																								
表面処理	B - 1 種 ・ B - 2 種																																																																								
伸縮継手	設けない ・ 設ける (図示による)																																																																								
5	漏水試験	屋内については水張試験を行う。	13 屋 根 及 び と い 工 事	1	長尺金属板葺き (1 3 . 2 . 2) (1 3 . 2 . 3)	長尺金属板の種類 塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び銅帯 (屋根用) ・ フッ素樹脂鋼板 ・ ポリ塩化ビニル被覆金属板 (SG A種) ・ 塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び銅帯 (屋根用) ・ 塗装溶融55%アルミニウム・亜鉛合金めっき鋼板及び銅帯 (屋根用) 長尺金属板の厚さ (mm) 一般部 0.3 ・ 0.35 0.4 ・ 谷部 0.4 ・ 0.5 屋根葺き形式 ・ かわら桝葺 ・ 平ふき ・ 横ふき ・ 丸はげ型ふき 建築基準法に基づき定まる風速 (Vo) 及び地表面粗度区分は、図示による。 屋根葺工法を定める専門業者	6	鋼製手すり (1 4 . 8 . 2)	亜鉛めっき ・ 行う (C 種 ・) ・ 行わない																																																																
	6	シーリング用材料 (9 . 6 . 2)			施工箇所は、下記以外表9.6.1による。 <table><tr><td>シーリング材の種類</td><td>施工箇所</td></tr><tr><td>M.S - 2</td><td></td></tr><tr><td>P.U - 2</td><td></td></tr></table>	シーリング材の種類		施工箇所	M.S - 2		P.U - 2		7	耐酸被覆メタル	・ 黒 ・ カラー 製造所																																																										
シーリング材の種類		施工箇所																																																																							
M.S - 2																																																																									
P.U - 2																																																																									
7	シーリングの試験 (9 . 6 . 5)	* 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 ・ 行わない	8	サッシ取合い間仕切板	種類 鋼板製 (表面処理亜鉛めっき鋼板とし、亜鉛の最小付着量は両面で 1 2 0 g / m ² 以上とする。ただし取付金物は除く) ・ アルミニウム製 ・ 木製 表面処理 B-1種 ・ B-2種																																																																				
	8	漏水試験		屋内については水張試験を行う。	9	鋼製床組	監督職員の承諾する製造所 ・ JIS規格品																																																																		

章

15

左

官

工

事

1

モルタル塗り及びブラスター

吸水調整剤製造所評価名簿による

2

モルタル塗り(15.2.2)

既製目地材使用しない・使用する

3

防水モルタル塗り(15.2.3)

施工箇所建具枠回り・図示による
防水剤の製造所評価名簿による

4

セルフレベリング材(15.4.2)(15.4.3)

種類	厚さ(mm)	施工箇所
セメント系	10	
・石こう系	10	

仕上塗材仕上げ(15.5.2)(15.5.4)

建築基準法に基づき防火材料の指定又は認定を受けたものとする。
・薄付け仕上塗材

種類	仕上の形状	工法
・外装薄塗材 E	・砂壁状 ・着色骨材砂壁状	吹付け
・内装薄塗材 E	・砂壁状ジュラク	吹付け

・厚付け仕上塗材

種類	仕上の形状	工法	上塗材
・外装薄塗材 E	スタッコ状	・吹放し ・凸部処理	吹付け ・行う ・行わない

・複層仕上塗材

種類	仕上の形状	上塗材
・複層塗材 C E	・ゆず肌	ローラー
・複層塗材 E		
・複層塗材 R S	・凸部処理	吹付け
・複層塗材 R E	・凹凸模様	
・複層塗材 S i		
・微弾性ワイヤー改修工法		

ALCパネル内壁目地の形状
V型目地付き

JIS規格同等品・JIS規格品

種別	種類	仕上厚(mm)
軽量骨材仕上塗材	吹付け軽量骨材仕上塗材	5

骨材の種類バーライト・パーミキュライト

6

軽量骨材仕上塗材吹付け

7

ロックウール吹付け(15.7.2)

(1)種別一般用
(2)色彩・着色・原色
(3)厚さ(mm)・10・15・20
建築基準法に基づき不燃材料の指定又は認定を受けたものとする。

8

張物タイル下地

張り物タイル(ビニール床タイル等)下地は1階防水モルタル塗、2階以上はモルタル塗りとする。

16

建具工事

1

アルミニウム製建具(16.2.2)

(1)性能等級等

種別	A種	・B種	・C種
耐風圧性	S-4	・S-5	・S-6
気密性	A-3		・A-4
水密製	W-4		・W-5
枠の見込み寸法(mm)	70		100
表面処理	B-1種	・B-2種(色調)	

(2)防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級・T-1・T-2・T-3
(3)断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級・H-1・H-2・H-3
(4)耐震ドアセットの面内変形追従の等級・D-1・D-2・D-3
(5)製造所評価名簿による
(6)防虫網の材質ガラス繊維入り合成樹脂・合成樹脂・ステンレス製(SUS 3 1 6)

(1)防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級・T-1・T-2・T-3
(2)断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級・H-1・H-2・H-3
(3)耐震ドアセットの面内変形追従の等級・D-1・D-2・D-3
(4)製造所評価名簿による
(5)煙感知器連動とする防火戸の解錠機構は別途とする。
扉にラッチ受座用切込開口補強・枠に解錠機構用切込開口補強

2

鋼製建具(16.3.2)

3

標準型鋼製建具(16.3.6)

(1)建具用金具 16.3.6(2)による
(2)製造所評価名簿による

16

建具工事

4

鋼製軽量建具(16.4.3)

区分	材質
招合せ、縦小口の包み板	・鋼板 ステンレス ・アルミニウム
押縁	鋼板 ・ステンレス ・アルミニウム
扉の表面板	鋼板 ・ビニル被覆鋼板(製作所仕様)
枠類	鋼板(くつずりはステンレス) ・製作所仕様

製作所評価名簿による

5

標準型鋼製軽量建具(16.4.6)

(1)建具用の金物 16.4.6(2)による
(2)扉の表面板 鋼板 ・ビニル被覆鋼板(製作所仕様)

6

ステンレス製建具(16.5.2)(16.5.5)

(1)防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級・T-1・T-2・T-3
(2)断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級・H-1・H-2・H-3
(3)耐震ドアセットの面内変形追従の等級・D-1・D-2・D-3
(4)製造所評価名簿による
(5)曲げ加工普通曲げ・角出し曲げ
・オーダーメイドレディーメイド及びこれに準ずる建具
(6)製作所評価名簿による

7

木製建具(16.6.2)

8

建具用金具(16.7.2)(16.7.4)

(1)型式、製造所

種類	型式	製造所
モノロック	・見本品提出の上決定する	評価名簿による
本納り付モノロック	・同上	評価名簿による
本納り錠	・同上	評価名簿による
ドアクローザー	面付形 ・コンシールド形	評価名簿による
ピボットヒンジ	持出し吊り ・中心吊り	評価名簿による
ヒンジクローザー	・丁番形 ・中心吊り形	評価名簿による
フロアーヒンジ		評価名簿による

(2)鍵箱・設ける(個用)・設けない
(3)マスターキー・製作する(組)・製作しない○既設建物に合わせる。
(4)引違扉の鍵鍵はトリガー付とする。

9

自動ドア開閉装置(16.8.2)(16.8.3)

(1)検出装置種類・マット・電子(電磁)・光線(反射)・音波・熱線・光電・タッチ
取付位置・床面・天井面・壁面・無目・建具
(2)開閉機構の製作所評価名簿による

10

自閉式上吊り引戸装置(16.9.2)

(1)製造所評価名簿による
(2)開閉時制動装置・設ける・設けない

11

重量シャッター(16.10.2)(16.10.3)

(1)種類・一般・外壁用防火・屋内用防火・防煙
防火又は防煙シャッターは、自動閉鎖装置及び随時閉鎖装置付とし、連動制御盤及び煙感知器は別途とする。
(2)開閉機能による区分
上部電動式(手動併用)・上部手動式
(3)障害物感知装置設ける・設けない
防火・防煙シャッターにおいては、手動閉鎖装置又は連動閉鎖機構による自重降下中に、障害物を感知しても、自重降下の状態を維持するものとする。
(4)シャッターケース(防火、防煙以外)・設ける・設けない
(5)耐風圧性能・5080・120
(6)製作所評価名簿による

12

軽量シャッター(16.11.2)(16.11.3)

(1)開閉機能による種類手動式・上部電動式(手動併用)
(2)スラットの材質塗装溶融亜鉛めっき鋼板
(3)スラットの形状インターロッキング形・オーバーラッピング形
(4)耐風圧性能・5065・80
(5)シャッターケース設ける・設けない
(6)ガイドレールの材質ステンレス製(SUS 3 0 4)
・中柱(鋼製)内法高2.5m以上補強型
・座板(屋外)ステンレス製2L-3×40×40SUS304
(7)製作所評価名簿による

13

オーバーヘッドドア(16.12.2)(16.12.3)

(1)セクション材料による区分
スチールタイプ・アルミニウムタイプ・ファイバーグラスタイプ
(2)開閉方式による区分バランス式・チェーン式・電動式
(3)収納形式による区分スタンダード形・ローヘッド形・ハイブリッド形・パーチカル形
(4)ガイドレールの材質溶融亜鉛めっき鋼板(めっき付着量 Z27)厚さ2.0mm以上
・ステンレス鋼板(SUS304)厚さ2.0mm以上
(5)アルミニウム型材の表面処理
陽極酸化塗装複合皮膜(標準色・指定色)・陽極酸化皮膜
(6)耐風圧性能・5075・100・125
(7)製作所評価名簿による

14

ガラス材料(16.13.2)

建築基準法により定まる風速(V₀)及び地表面粗度区分は図示による。

章

15

左

15

ガラスの留め材(16.13.2)

建具の種類材質
鋼製シーリング材
アルミニウム製・ガスケットシーリング材(引違い窓はガスケット)
ステンレス製シーリング材
木製シーリング材
防火戸のガラスのとめ材は、建築基準法に基づく防火性能の認定を受けた条件による。

16

付属電気設備

電動シャッター、自動扉の施工範囲は下記による。
自動扉の電源スイッチ以降の配線工事(配管及び位置ボックスは別途工事とする。)
電動シャッターの操作スイッチ以降、シャッター制御盤までの配線工事
(配管及び位置ボックスは別途とする。)
三相電動機0.4kw以上の場合は、機器付属の操作盤内に電動機保護用遮断器及び進相用コンデンサーを設置。

17

金属製建具の取付け

アンカーは、原則として電気溶接とする。

17

カーテンウォール工事(17.1.3)

(1)性能耐風圧性(・)耐震性層間変異追従性能(・)慣性力に対する安全性能(・)
水密性可動部(・)その他(・)
気密性(・)
耐火性(・)耐温度差性(・)
遮音性(・)断熱性(・)
(2)製作所

18

防火材料(18.1.3)素地ごしらえ(18.2.2)(18.2.3)(18.2.4)

屋内の壁及び天井の塗装仕上げは、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする。
木部不透明塗料塗りA種・透明塗料塗りB種
鉄面・A種・B種C種
2液形ポリウレタンエナメル塗り、常温乾燥型ふっ素樹脂エナメル塗りの場合はB種
亜鉛めっき面鋼製建具A種・B種・C種
鋼製建具以外・A種・B種C種
2液形ポリウレタンエナメル、常温乾燥型ふっ素樹脂エナメル塗の場合はA種
・改修部分は図示による
屋内でA種とする箇所
1種・2種

3

鉄面錆止め塗料の種類(18.3.2)

4

合成樹脂調合ペイント塗りの塗料種類(18.4.2)

5

マスチック塗料塗り(18.18.2)

種類	凸面処理	仕上材塗り
・A種	・行う ・行わない	
・B種		
・C種	・行う	・アクリル樹脂エナメル2回塗り ・つや有り合成樹脂エマルジョンペイント2回塗り

6

ビニールペンキ塗り部分の指定(VE)

流し台廻り(FL+1,300内外)、作業台(窓下実験台共)の作業面+300の範囲は、ビニールペンキ塗りとする。

19

内装工事

1

ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り(19.2.3)

○ビニル床シート

種類	記号	色柄	厚さ(mm)	工法
発泡層のないもの	N C	無地	○2.02.5 ○2.5(防滑)	・突付け ○熱溶接

化学教室、実験室等は耐腐化塩ビシート貼りとする。
・ビニル床タイル

種類	記号	厚さ(mm)
・ホモジニアスビニル床タイル	H T	2.0
・コンポジションビニル床タイル	・半硬質 C T ・軟質 C T S	

・特殊機能床材(帯電防止)

種類	記号	厚さ(mm)	性能 J I S K 6 9 1 準拠 2 0 4 0 % R H
・帯電防止床シート	N C	2.0	体積抵抗値()・1.0×10 ⁹ 以下
・帯電防止床タイル	C T S		体積抵抗値()・1.0×10 ⁹ 以下

・特殊機能床材(帯電防止以外)

種類	厚さ(mm)	製造所

○ビニル備木

材質	厚さ(mm)	高さ(mm)
軟質・硬質	2	6.0・7.5・10.0

・タイルカーペット

種別	バイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	電気抵抗()	工法
A種	ループバイル	5.00角	6.5	帯電防止の場合10以下	全面接着
・B種	・カットバイル			J I S L 1 9 0 4 2 3 2 5 % R H	

2

カーペット敷き(19.3.3)

MEMO

Okiki

Okuie

奥家巳喜建築設計事務所

広島県神石郡神石高原町小島2750-1 TEL0847-85-4500

広島県知事登録(21(1)第4222号) FAX0847-43-8161

図面名

建築工事特記仕様書

縮尺

製作日

工事名

高原寮フェンス等設置工事設計図

1級建築士

第315788号

奥家巳喜

No. A - 05

章

19

内装工事

3

合成樹脂塗り床
(19.4.3)

・弾性ウレタン塗り床 仕上げの種類 平滑仕上 ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂塗り床 仕上げの種類 ・薄膜流し展べ仕上げ ・厚膜流し展べ仕上げ
・樹脂モルタル仕上げ ・防滑仕上げ

4

床用防塵塗料塗り

製造所 イサム塗料KK(エポフロアーU)
KKエービーシー商会(カラトップU)
エスケー化研KK(アーキフロアーEH)
中外商工KK(アートフロアーEVコート)同等

5

フローリング張り
(19.5.2~19.5.6)

・単層フローリング
種類 ・フローリングボード ・フローリングブロック ・モザイクパーケット
工法 ・湿式工法 ・乾式工法(・釘止め工法 ・接着工法)
・複合フローリング(1種 ・2種 ・3種)
樹種 ひのき ・ブナ ・ナラ ・カバ ・図示による(表層単板 t=2.0さくら)
模様 えん甲板 ・寄木 ・メーカー仕様による
工法 釘留工法(・A種 B種 ・C種) ・接着工法
ホルムアルデヒド放出量 ・F

6

畳敷き
(19.6.2)

種類 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種
D種の場合の畳床の記号 ・KT- ・KT- ・KT-
畳床の防虫処理は防虫加工紙を使用してもよい。 ・畳表は1等とする

7

せっこうボード,その他
ボード及び合板張り
(19.7.2)

せっこうボード,その他のボード

材種・規格	施工場所	張り方		厚さ(mm)等
○石こうボード JIS A6901 規格品	○壁	・下張り ・上張り ○直張り	・突付け ・目透し ・突付け ○突付けV目地 ○継目処理	・9.5(準不燃認定品) 12.5(不燃認定品) ・9.5(準不燃認定品)強化 12.5(不燃認定品)
	・天井	・下張り ・上張り ・直張り	・突付け ・目透し ・突付け ・継目処理	・9.5(準不燃認定品) 12.5(不燃認定品) ・9.5(準不燃認定品) 12.5(不燃認定品)
○化粧石こうボード		直張り	突付け	9.5 (・準不燃認定品・不燃認定品) (・455x910 ・910x910)
・化粧石こうボード (杉板目プリント)		直張り	目透し	9.5(準不燃認定品) 下地共メーカー仕様による
・吸音用穴あき 石こうボード JIS A6301による				9.5(準不燃認定品) 不燃性原紙裏打ち
○ロックウール 化粧吸音板 JIS A6307 規格品	天井	・上張り ○直張り	突付け	○9(不燃認定品) ・12(不燃認定品) ・ (不燃認定品)
・ロックウール 吸音材 JIS A6303規格品	天井			25(不燃認定品) ロックウール吸音ボード 1号(60K)
○グラスウール 吸音材 JIS A6306規格品	・天井 ○壁			25(不燃認定品) グラスウール吸音ボード 2号(32K)
・木毛セメント板 JIS A5404 規格品				・20 25 ・30 難燃木毛セメント板 ・断燃木毛セメント板 (準不燃認定品)
○無石綿セメントけい酸カルシウム板 ・繊維強化セメント板 JIS A5430 規格品				○6 ・8 ・10 ・12 (不燃認定品)

*天井及び壁に使用するものは、建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたものとする。

・合板
天井及び壁に使用するものは、建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたものとする。
ホルムアルデヒド放散量 *F
・難燃合板(表面の品質)
・特殊合板

種類	厚さ等	種類	厚さ等

・パーティクルボード及びMDF
ホルムアルデヒドの放出量 Eo

建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたものとする。

施工箇所	品質(製造所)	耐火性能の級別
・図示による	・サンゲツ・シンコール	・1級 ・2級 ・4級
		・1級 ・2級 ・4級
		・1級 ・2級 ・4級

章

19

内装工事

9

断熱材打ち込み工法
(特定フロンを使用しないもの)
(19.9.2)

断熱材補修材 ・断熱材と同材
・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材(次項による)
上記保温材は特定のフロンを含まないものとする。

10

断熱材現場発泡工法
(特定フロンを使用しないもの)
(19.9.3)

厚さ mm 難燃性 2級 ・図示による
製造所 評価名簿による
上記保温材は特定のフロンを含まないものとする。

11

メラミン樹脂化粧板

JIS K 6903規格品
厚さ ・1.0 1.2 ・1.6

12

浴室天井材

準不燃認定品
製造所
見切縁、水切りは特記製造所の仕様による。

13

フローリング特殊張り
及び捨板特殊張り

体育館、格技場用
監督職員の承諾する施工業者

章

20

雑工事

1

フリーアクセスフロア
(20.2.2)

施工箇所
構法 ・パネル構法 ・溝構法 ・パネル構法 ・溝構法
耐震性能 ・1.0G ・0.6G ・1.0G ・0.6G
耐荷重性能 ・3000N ・5000N ・3000N ・5000N
高さ(mm)
構成材
ボーダー部及びスロープ メーカー仕様 ・図示 メーカー仕様 ・図示
・図示による
JIS A6512によるほか、下記による
(1)構造形式 ・パネル式 ・スタッド式(・スタッド露出 ・スタッド内蔵) ・スタッドパネル式
(2)表面材質及び厚さ(mm) 鋼板0.8
(3)仕上げ ・メラミン樹脂塗料又はアクリル樹脂塗料焼付け塗装
(常備色 ・指定色)
(4)パネル厚さ (mm)程度
(5)製造所 JIS A6512によるもの又は、評価名簿による

2

可動間仕切り
(20.2.3)

(1)表面材 メラミン化粧樹脂板 ・ ポリエステル樹脂板 ・図示による
(2)PS部 周囲(3方)は天井までとする
(3)製造所 評価名簿による

3

トイレブース
(20.2.5)

(1)仕様 ・広島県高等学校黒板仕様 ・JIS規格品 ・図示
(2)種類 研ぎ出し黒板(・木製 鋼製)・焼き付け黒板 ・ほうろう ・図示
枠 アルミ合金製 ・木製
色彩 緑 ・黒 ○白
(3)製造所

4

階段滑り止め
(20.2.6)

(1)材種 ステンレス製(・埋込み工法 接着工法)
(2)フラットエンド ・有(タイヤ同材 ・ステンレス製) ・無
(3)形式 ビニルタイヤまたは合成ゴムタイヤ入り ・タイヤ無

5

黒板及びホワイトボード
(20.2.8)

(1)仕様 ・広島県高等学校黒板仕様 ・JIS規格品 ・図示
(2)種類 研ぎ出し黒板(・木製 鋼製)・焼き付け黒板 ・ほうろう ・図示
枠 アルミ合金製 ・木製
色彩 緑 ・黒 ○白
(3)製造所

6

表示
(20.2.10)

○室名札 ・ピクトグラフ ・庁舎案内板 ・視覚障害者案内板
標準寸法 アクリル板厚5 ・50x250以上 ○図示による
文字 シルク印刷 ・エナメル書き
文字寸法 文字間隔は芯合せ ・既設に合せる
書体 太ゴシック正体 ・角ゴシック長体1号 ・既設に合せる

7

庁名文字

詳細図による
・切抜文字(・ステンレス製 ・黄銅製)・箱文字(・ステンレス製 ・黄銅製)
字数() 文字の大きさ()号 ・図示による

8

煙突ライニング
(20.2.11)

製造所 評価名簿による

9

ブラインド
(20.2.12)

形式 構形ブラインド ・変形ブラインド
材種 アルミニウム合金 ・アルミスラット ・クロススラット
閉閉方式 ギヤー式 ・コード式 コード式
スラットの成形幅(mm) 25 ・35 ・75以上 ・100

10

ロールスクリーン
(20.2.13)

種別 ホワイトスクリーン
形式 スプリング巻上(・ノーショック)式
寸法(mm) 幅() 高さ()

11

カーテン
(20.2.14)

施工箇所 きれ地の品質(製造所) ひだの種類 形式 引分け装置
・図示 ・図示 ・片引 ・引分け ・有 ・無
・片引 ・引分け ・有 ・無
・片引 ・引分け ・有 ・無
暗幕用カーテンの重ねかけ 300以上
カーテンレール 材種 ステンレス製 ・アルミニウム製

章

20

雑工事

12

アコーデオンドア

製品は消防法に認定する防炎加工を行ったものとする。
製作所

13

OHP用スクリーン

種別 ホワイトスクリーン
形式
寸法(mm) 幅() 高さ() *詳細は標準図による。

14

浴槽

釜 バランス式(・一般型 シャワー付型)・外釜式
バーナー ・都市ガス用 ・プロパンガス用
そう ・鉄板ボロー仕上 ・ポリバス ステンレス
寸法(mm) 長さ() 幅() 高さ() 保温ふた付

15

くつつきマット

ビニール製(受わくステンレス製)
・硬質アルミニウム製(受わくステンレス製)
・図示による

16

旗ざお受金物

材質 ・黄銅(ホワイトブロンズめっき仕上)・ステンレス製()組

17

旗ざお

製造所

18

カウンター

製造所 ・図示による

19

鋼製書架及び物品棚

鋼製書架 JIS S 1039規格品
鋼製物品棚 JIS S 1040規格品

20

ステンレス流し台

・BL部品(トラップ付) ・一般型(水封50mm以上のトラップ付)
・BL部品 ・一般型 ・公共住宅型

21

吊り戸棚

・一般型(材質はステンレス鋼又はアルミニウム)
・BL部品 ・一般型 ・公共住宅型

22

水切り棚

天井 材種 アルミニウム製、寸法(mm) 450x450 ・600x600
製造所 昭和ロックKK(天井ハッチ)、KKダイケン(Z型)
ナカ工業KK(ハイハッチSD)、KKマンテン(テンケンハッチ)
理研アルミ建材KK(天井点検口)

23

コンロ台

床 材種 アルミニウム製、寸法(mm) 450x450 ・600x600
製造所 *評価名簿による

24

点検口

材質 ステンレス製 ・鋼製
大きさ ・()x() ・()
基礎寸法 ()x()x() 地盤厚 60mm
製造所
種別 通路 A種 ・B種
建物周囲その他 ・A種 B種

25

屋上点検口

面の形状 正方形 ・長方形
JISによる重量区分 ・ブロックA ブロックB
目塗り ・行う 行わない

26

焼却炉

広島県公有財産管理規則による標識とする。()箇所
枠 ・硬質アルミ枠
詳細は建築工事標準詳細図による。
・ビニール製 ・ステンレス製 ・図示による

27

砂利敷き

製造所

28

間知ブロック積み

材質 アルミニウム既製品(押出し型材) ○ビニル既製品 ・木製
材質 ・塩化ビニル製(厚さ2mm) ・コンクリート製(厚さ30mm)
詳細は建築工事標準詳細図による。 ・図示による
・製造所仕様を基本とし、施工図提出のうえ監督職員の承諾を得ること。
・メーカー仕様による ○図示による
原則として家具職人の施工とし、施工に先立ち施工図を監督職員に提出し、形状、寸法、材料、工法、金物等の承諾を受けること。

29

敷地・境界石標

製造所 小川長春館・セノー・都村製作所 ○既設床金物(既設再用)
延焼のおそれのある部分で、耐火構造又は防火構造が要求される場合は、鋼製PL厚1.5mm以上の特定防火設備又は防火設備を使用すること。

30

トラフ

製造所

31

階段手すり笠木

製造所

32

天井見切縁

製造所

33

視覚障害者用誘導ブロック

製造所

34

シャワーブース

製造所

35

家具工事

製造所

36

体育館器具

製造所

37

換気扇枠等

製造所

21

排水工事

1

排水管
(21.2.1)

・遠心力鉄筋コンクリート管 (管径150mm未満は市販品とする)
種類 外圧管1種
継手 ソケット管のゴム接合 ・カラー又はソケット管のモルタル接合
・硬質塩化ビニル管 ・VP ・VU

2

埋戻しに用いる材料
(21.2.3)

種別(表3.2.1による)
・A種 B種 ・C種 ・D種
材質 鋼製 ・ステンレス製
耐荷重等は図示による
製造所 評価名簿による

3

グレーチング
(21.2.2)

製造所

4

鉄製マンホール
(21.2.2)

広島県名入りとし、雨水、雑排水、汚水等の表示入りとする。
形式 ・水封形 ・簡易密閉形 ・密閉形
安全荷重(KN)
屋内用 T-2用(5)
屋外用 ・T-2用(5) T-6用(15) ・T-20用(50)
製造所 評価名簿による

MEMO

iki

Okuie

奥家巳喜建築設計事務所

広島県神石郡神石高原町小島2750-1 TEL0847-85-4500
広島県知事登録(21(1)第4222号) FAX0847-43-8161

図面名

建築工事特記仕様書

縮尺

製作日

工事名

高 原 寮 フ ェ ン ス 等 設 置 工事設計図

1級建築士 奥 家 巳 喜

第315788号

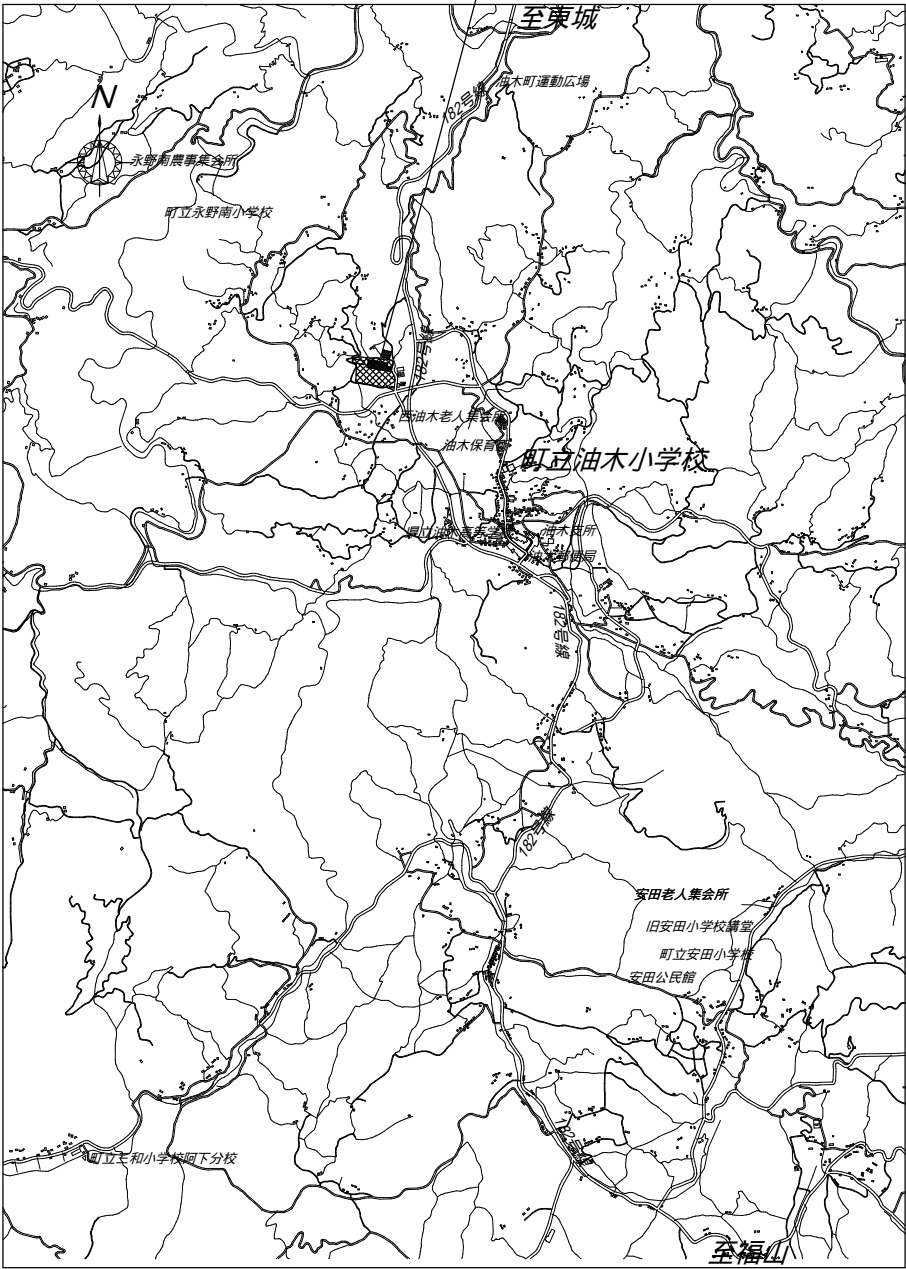
No. A - 06

章	項目	特記事項
2 舗装工事	① 路床の盛土材料 (2 2 . 2 . 3)	路盤の構成は図示による。 種別 (表 3 . 2 . 1 による) ・ A 種 B 種 ・ C 種 ・ D 種
	② 試験 (2 2 . 2 . 5)	路床土の支持力比 (C B R) 試験 行わない ・ 行う (乱した土 ・ 乱さない土) 路床締固め度の試験 ・ 行う 行わない
	③ アスファルト舗装 (2 2 . 4 . 3 ~ 2 2 . 4 . 6)	路面の構成は図示による。 アスファルト舗装加熱アスファルト混合物の種類 区分 地域別 種類 ○一般地域 ○密粒度アスファルト混合物 (1 3) ○表層 ・細粒度アスファルト混合物 (1 3) ○寒冷地域 ○密粒度アスファルト混合物 (1 3 F) ・細粒度ギャップアスファルト混合物 (1 3 F) ・基層 一般及び寒冷地域 ・細粒度アスファルト混合物 (2 0) ・ カラー舗装の種類 種類 顔料を使用した加熱アスファルト混合物 シールコート ・ 行う 行わない アスファルト混合物の抽出試験 ・ 行う 行わない
	4 コンクリート舗装 (2 2 . 5 . 3 ~ 2 2 . 5 . 6)	舗装の構成は図示による。 溶接金網 ・使用する (・ 1 5 0 × 1 5 0 × 6 ・ 図示) ・使用しない (D10@200㊦7ミング ♯) コンクリート板の厚さの試験 ・ 行う 行わない
	5 ブロック系舗装 (2 2 . 8 . 3)	舗装の構成は図示による。 ・インターロッキングブロック舗装 材質 (コンクリート ・) 形状 寸法 種類 色彩 ・ ナチュラル ・ カラー 厚さ (mm) 6 0 ・ 8 0 表面加工 クッション材 砂 ・ 空練りモルタル 適用する (・ 再生加熱アスファルト混合物 ・ 再生クラッシャーラン ・ 再生粒度調整砕石 ・ 再生コンクリート砂) 品質 ・ 規格については、監督職員と協議すること ・ 適用しない
	6 再生資源	

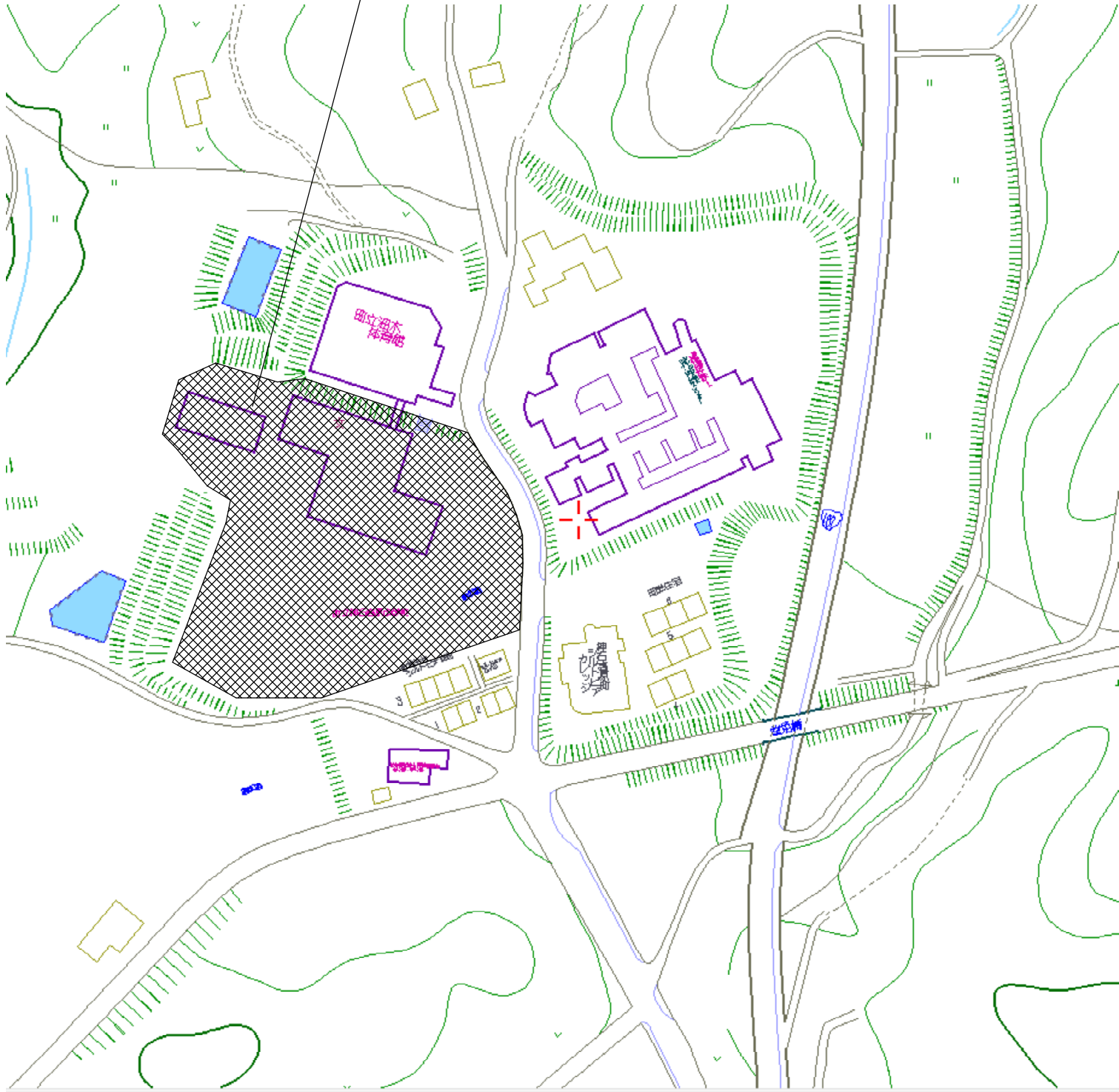
2 3 植栽工事	1 植栽地の試験 (2 3 . 1 . 3)	土壌の酸度及び塩分量の試験 ・ 行う ・ 行わない
	2 植栽基盤の整備 (2 3 . 2 . 2)	樹木 ・ 行う (A 種 ・ C 種 ・ D 種) ・ 行わない 芝 行う (B 種 ・ C 種 ・ D 種) ・ 行わない
	3 植込用土及び土壌改良材 (2 3 . 2 . 3)	植込込み用土の種類 現場発生の良質土 ・ 搬入土 (良質土) 土壌改良材の種類 ・ バーク堆肥 ・ 発酵下水汚泥コンポスト
	4 支柱材 (2 3 . 3 . 2)	丸太 (杉の焼丸太) ・ 竹
	5 芝 (2 3 . 4 . 2) (2 3 . 4 . 3)	種別 こうらい芝 ・ 野芝 芝張り ・ 平地 目地張り ・ 切り土のり面 べた張り ・ 盛り土のり面 筋芝張り
	6 既設植栽の移設	客土 行う ・ 行わない 移設 行う (係員の指示による) ・ 行わない

提出書類は A 4 にて製本の事						
提出書類一覧						
		名 称	部数	提出期日	提出月日	備 考
○	1	着手届 (発注者書式)	2	契約時	月 日	
○	2	主任技術者・監理技術者・現場代理人届	2	契約時	月 日	設計監理者にも提出の事
○	3	同上経歴書 (書式は自由)	2	契約時	月 日	免許証等 (写し) 添付
○	4	工事工程表	2	5 日以内	月 日	A 4 版程度
○	5	詳細基本工程表	2	5 日以内	月 日	A 3 ~ A 2 版程度
○	6	見積書 (請負者が算出した数量による内訳明細書)	2	5 日以内	月 日	A 4 版ファイル
○	7	下請業者名簿 (承認願い)	2	各工事着手前	月 日	施工体制台帳等共
○	8	主要資材発注先名簿 (承認願い)	2	資材搬入前	月 日	
○	9	期間別工事工程報告書	2	毎月 2 回	月 日	現況写真添付のこと
○	10	鉄筋及び鉄骨試験表	2	随 時	月 日	ミルシート等
○	11	コンクリート調合表	2	随 時	月 日	
○	12	コンクリート圧縮試験表	2	随 時	月 日	4 週 (公共機関試験)
○	13	施工図・製作図・承認図	2	随 時	月 日	
○	14	各種施工要領書	2	随 時	月 日	
○	15	工事写真	2	毎月 2 回	月 日	最終は C D データ
○	16	火災保険証の写し	2	着工前	月 日	工期の 20 日延長
○	17	材料出荷証明書	2	随 時	月 日	
	18	塗装関係の使用量の報告書	2	完了時	月 日	
○	19	アスファルト調合表、試験表	2	随 時	月 日	
○	20	工程指定の報告書 (法 第 12 条 3 項)	2	随 時	月 日	写真添付のこと
○	21	工事打合簿	2	随 時	月 日	
	22	浴室ユニット社内検査表	2	完了時	月 日	
○	23	社内検査表	2	完了時	月 日	
○	24	竣工図 (文字入り製本・A 3 版及び A 4 版)	各 3	完了時	月 日	原図を訂正のこと
○	25	各工事保証書	2	完了時	月 日	
	26	鍵番号表	2	完了時	月 日	
○	27	電気絶縁抵抗試験表	2	完了時	月 日	
	28	テレビ共聴電解強度試験表・画面解像度表	2	完了時	月 日	
○	29	接地抵抗試験表	2	完了時	月 日	
	30	水圧試験報告書	2	完了時	月 日	
	31	ガス気密試験報告書	2	完了時	月 日	
	32	電気メーター指針表	2	完了時	月 日	
	33	水道メーター指針表	2	完了時	月 日	
	34	ガスメーター指針表	2	完了時	月 日	
	35	給水ポンプ及びモーター明細書	2	完了時	月 日	
○	36	完成写真 (撮影箇所は監督員の指示による)	2	完了時	月 日	C D データ
○	37	総合仮設計画書 (安全計画書含む)	2	随 時	月 日	A 2 版程度の図面添付
○	38	上記以外に発注者、監督員の指示によるもの	2	随 時	月 日	
○	39	提出書類綴込み用空ファイル	4	5 日以内	月 日	10cm 用程度
	40	環境物質測定 (3 箇所)	2	完了時	月 日	

工事場所 町立神石高原中学校
神石郡神石高原町油木甲6836番地1



付近見取り図



MEMO



奥家巳喜建築設計事務所

広島県神石郡神石高原町小島2750-1 TEL0847-85-4500

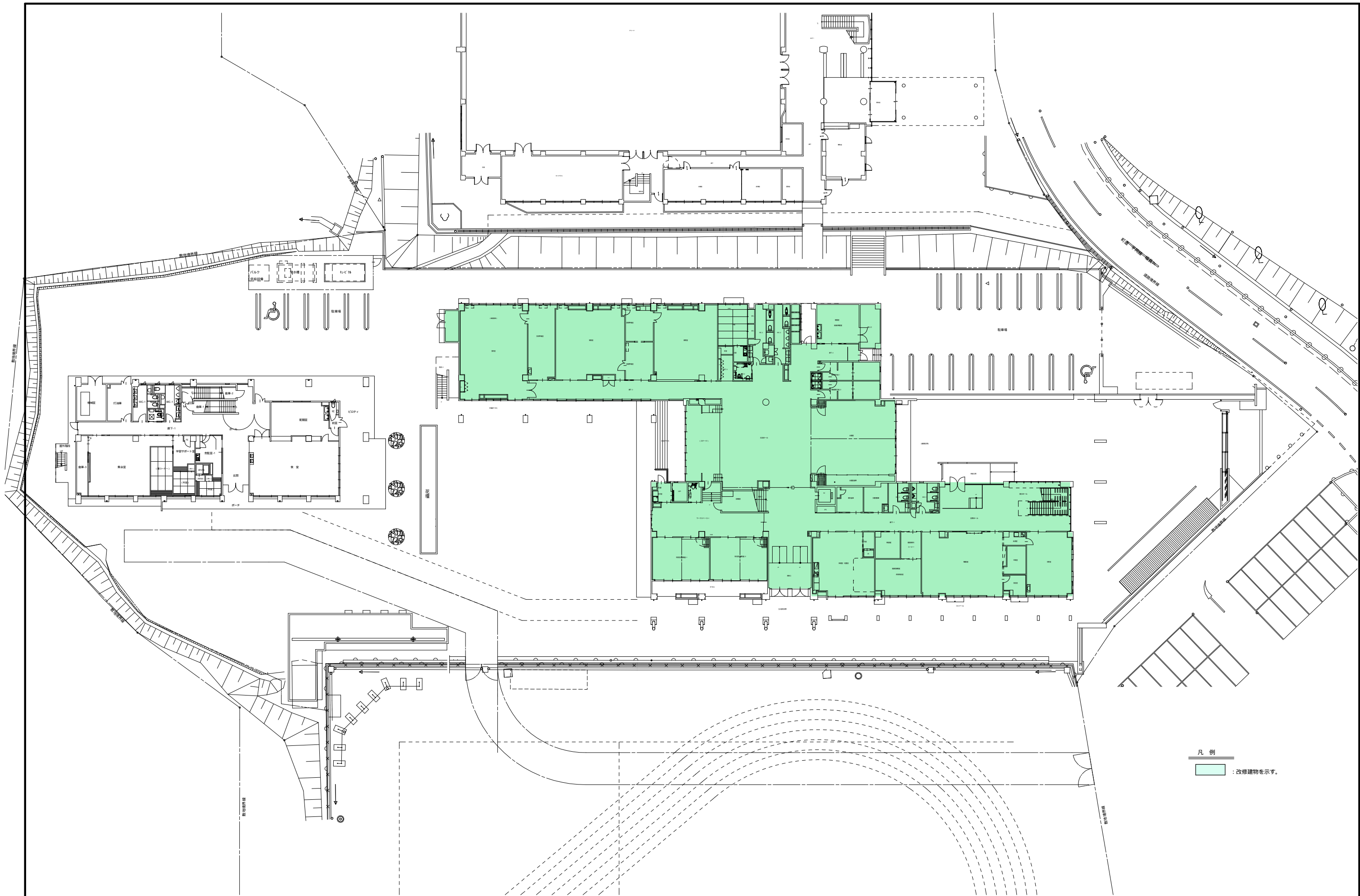
広島県知事登録(21(1)第4222号) FAX0847-43-8161

図面名 付近見取り図

縮尺 製作日

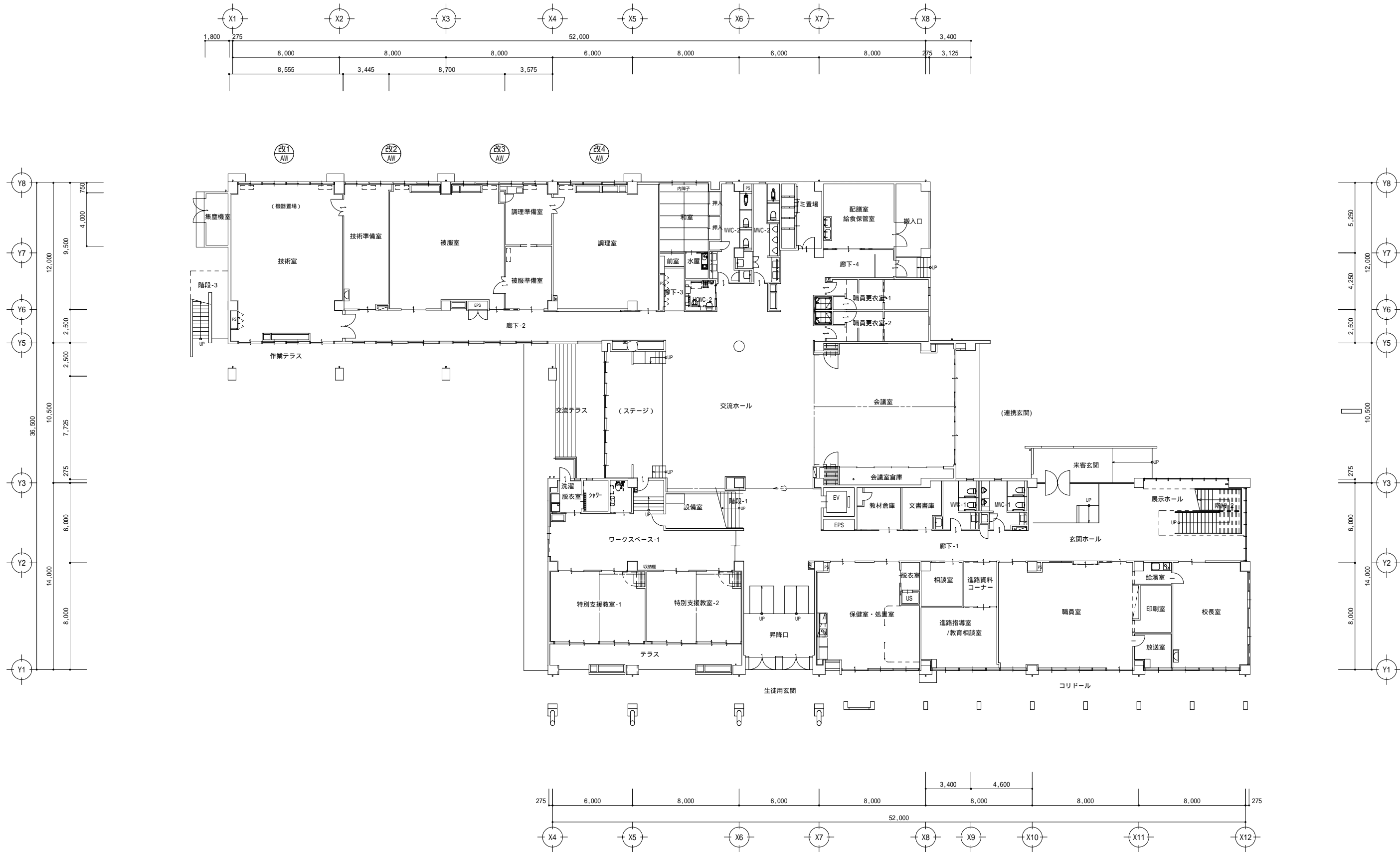
工事名 高原寮フェンス等設置 工事設計図

1級建築士 奥家巳喜 第315788号 No. A - 08



凡 例
: 改修建物を示す。

MEMO			奥家巳喜建築設計事務所 広島県神石郡神石高原町小島2750-1 TEL0847-85-4500 広島県知事登録(21(1)第4222号) FAX0847-43-8161		図面名 配 置 図		工事名 高 原 寮 フ ェ ン ス 等 設 置 工事設計図					
	縮尺 S=1/300				製作日	1級建築士 第315788号 奥 家 巳 喜					No. A - 09	



凡 例
改 : 既設建具改修を示す。

1 階平面図 S=1/200

MEMO



奥家巳喜建築設計事務所
広島県神石郡神石高原町小島2750-1 TEL0847-85-4500
広島県知事登録(21(1)第4222号) FAX0847-43-8161

図面名 1 階平面図

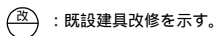
縮尺 S=1/100

製作日

工事名 高 原 寮 フ ェ ン ス 等 設 置 工事設計図

1級建築士
第315788号 奥 家 巳 喜

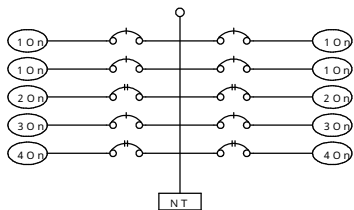
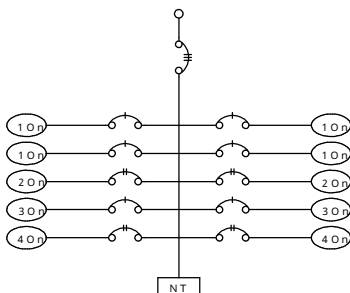
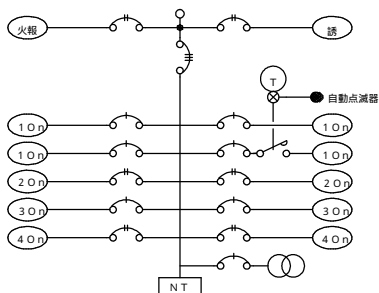
No. A - 1 0



記号	数量	改7 AW		1		改8 AW		1				
姿 図	(改修前)		(改修後)		XXXXX : カッティングシート貼部分		(改修前)		(改修後)		XXXXX : カッティングシート貼部分	
	ランマガラリ付 4連引違い窓						ランマガラリ付 4連引違い窓					
	2階 美術室, 美術準備室						2階 理科準備室, 理科室					
	70 アルミ製						70 アルミ製					
硝 子	透明ガラス t = 5.0						透明ガラス t = 5.0					
改 修 内 容	1. 既設ガラスにカッティングシート貼りを行う。						1. 既設ガラスにカッティングシート貼りを行う。					
記号	数量	改9 AW		1								
姿 図	(改修前)		(改修後)		XXXXX : カッティングシート貼部分							
	ランマガラリ付 3連引違い窓引違い戸											
	2階 理科室											
	70 アルミ製											
硝 子	透明ガラス t = 5.0											
改 修 内 容	1. 既設ガラスにカッティングシート貼りを行う。											
記号	数量											
姿 図												
型 式												
取 付 場 所												
枠見込 仕上												
硝 子												
改 修 内 容												
MEMO				奥 家 巳 喜 建 築 設 計 事 務 所		図面名		表 紙		工事名 高 原 寮 フ ェ ン ス 等 設 置 工事設計図		
				広島県神石郡神石高原町小島2750-1 TEL0847-85-4500		縮尺 S=1/100		製作日		1級建築士 奥 家 巳 喜		
				広島県知事登録 (21(1)第4222号) FAX0847-43-8161						No. A - 13		

分電盤仕様








標準結線図



負荷容量の算定

負 荷 名 称				負荷容量 W	備 考	負 荷 名 称				負荷容量 W	備 考
L E D	FL40W-1 タイプ	1099-ｽ	2000lm	13.1	L E D	FOLE77H タイプ	ダクライト	950 l m	7		
	FL40W-2 タイプ		4000lm	25		IL60W タイプ		615 l m	4.2		
	HF32W-1 タイプ		2500lm	16.3		IL60W タイプ	ﾌﾞﾚｯﾄ	540lm	7.1		
	HF32W-2 タイプ		5200lm	31.9		IL60W タイプ	ｼｰﾘﾝｸﾞ ﾀｲﾌﾟ	6.8			
	HF32W-1 タイプ		3200lm	20.6							
	HF32W-2 タイプ	6900lm	43.1								
	HF16W-1 タイプ	1600lm	12.2								
	HF16W-2 タイプ	3200lm	22.4								
	HF32W-1 タイプ	2500lm	23	コンセント	1 5 A (1 口用、2 口用)	100					
	HF32W-1 タイプ	2600lm	20		2 0 A	1000					
	HF32W-1 タイプ	3800lm	33		換気扇用	100					
	HF32W-2 タイプ	4900 l m	44								
HF32W-1 タイプ	5040 l m	36									
HF32W-2 タイプ	7440 l m	62									

注 記

<p>給電線中、特記なき機器仕様は下記による。</p>		<p>3. 回路番号種別は下記による。</p>	
 - MCB B P	- リモコンリレー1P20A (○)	 - A C 100V 自火報受信伝信回路	 - A C 100V 誘導灯回路
 - MCB P 250AF 20AT	- リモコンリレー2P20A (○)	 - A C 100V 防炎アンプ回路	
 - MCB P 150AF 20AT	- リモコンリレーAC100V/24V	 - A C 100V 電灯回路	 - A C 200V 電灯回路
 - ELB P 250AF 20AT	- Mg S2P30A	 - A C 100V コンセント回路	 - A C 200V コンセント回路
	 - 24H停電補償付		
 - 不足電圧検電器	 - 積算電力量計 検定付		
 - ニュートラル端子	 - 積算電力量計 検定付 (パルス発信型)		

・ 負荷容量欄において (W0) はランプワット数をあらわす。

備考

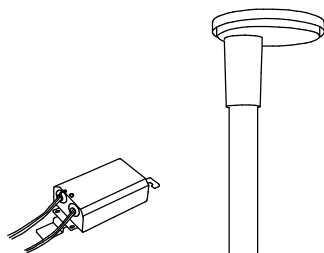
、回路番号不明の為、不要回路開閉器二次側切り離し時回路確認を確実にすること。

分電盤リスト(1)

[illegible]

照 明 器 具 姿 図

LED街路灯 水銀灯100形相当

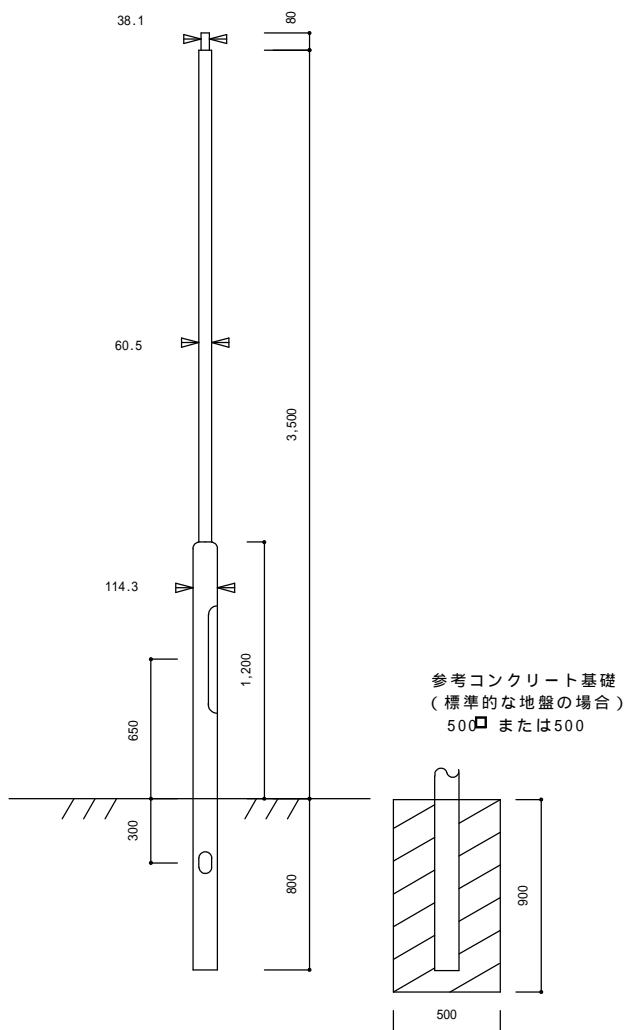


昼白色、5000K、Ra70
器具本体 18901m、消費電力21W、電圧100～242V
床材：アルミダイカスト（オフブラック）
天板：鋼板（オフブラック）、グーロップ：アクリル
光束維持時間4000時間（光束維持率75%）
落下防止ワイヤー付、耐雷サージ：15KV
上方向光束比0～5%以下

モールライトXY7572LE9



街路灯用ポール



トクポール X D Y D 2 6 3 9 H



注 照明器具品番は、参考品番とする。

MEMO



奧家已喜建築設計事務所

広島県神石郡神石高原町小島2750-1 TEL0847-85-4500

広島県知事登録（21(1)第4222号） F A X 0847-43-8161

図面名

盤結線図・照明姿図

工事名 高 原 寮 フ ェ ン ス 等 設 置 工事設計図

1級建築士 奥家巳喜
第315788号

No. E - 02

